



都営交通
TOEI TRANSPORTATION

2017 経営レポート

Management report



東京さくらトラム
(都電荒川線)

はじめに

日頃から、都営交通をご利用いただき、ありがとうございます。

東京都交通局は、都営地下鉄、都営バス、東京さくらトラム（都電荒川線）、日暮里・舎人ライナー、上野動物園モノレール、発電の6事業及びこれらに関連する事業を運営しています。

経営に当たっては、東京の都市活動や都民生活を支える公共交通機関としての使命を果たすため、安全・安心の確保を最優先に、接遇の向上や快適な施設の整備に取り組む一方、コスト縮減や業務運営の効率化などにも努めています。

このレポートは、東京都交通局の経営状況等を簡潔にまとめ、お客様や都民の皆様への、交通局事業に対する理解と信頼を得ることを目的として作成しました。

目次

■ 経営理念・経営方針	2
■ 経営の状況	3
事業別の状況	3
財務指標	5
■ 経営の状況(参考資料)	10
平成28年度運輸成績表	10
平成28年度決算総括表	11
平成28年度貸借対照表	12
平成28年度損益計算書	12
平成28年度剰余金計算書	13
キャッシュ・フロー計算書(平成26年度～平成28年度)	14
■ 事業別経営指標比較・分析	17
■ 経営計画2016の進捗状況(平成28年度時点)	38

経営理念

私たち都営交通は、都民やお客様に信頼され、支持される公共交通機関として、安全・安心を何よりも大切にし、東京の都市活動や都民生活を支えています。

経営方針

- ◆ 都民やお客様の信頼に応えるため、安全・安心を最優先し、全職員が一丸となって、災害に強く、事故のない都営交通を実現します。
- ◆ お客様が求める質の高いサービスを提供し、快適で利用しやすい都営交通を実現します。
- ◆ 首都東京が抱える様々な課題に果敢に挑戦し、東京の発展に貢献する都営交通を実現します。
- ◆ 事業環境の変化にも迅速かつ的確に対応するとともに、中長期的に安定した事業運営を行っていくため、経営基盤を強化します。

経営の状況

交通局は、「高速電車事業会計」、「交通事業会計(自動車運送事業、軌道事業、新交通事業、懸垂電車事業)」、「電気事業会計」の三つの会計を設け、地方公営企業法に基づいてそれぞれの事業を經理しています。

■ 平成28年度決算 (注) 金額は税抜き

5事業合計の乗車人員	12億4,000万人	対27年度比	2.2%増
3会計合計の営業収益	1,938億1,700万円	対27年度比	2.0%増
3会計合計の経常利益	325億8,500万円	対27年度比	32.6%増

■ 事業別の状況 (注) 金額は税抜き

高速電車事業 / 都営地下鉄	平成28年度		平成27年度
○ 乗車人員(年間)	9億7,400万人	▲	9億5,000万人
○ 乗車人員(一日平均)	267万人	▲	260万人
○ 乗車料収入(年間)	1,373億2,500万円	▲	1,346億6,900万円
○ 乗車料収入(一日平均)	3億7,600万円	▲	3億6,800万円
○ 経常損益	328億7,100万円	▲	258億5,700万円
○ 累積欠損金	2,946億円	減	3,275億円
○ 長期債務	7,506億円	減	7,980億円

自動車運送事業 / 都営バス	平成28年度		平成27年度
○ 乗車人員(年間)	2億2,000万人	▲	2億1,800万人
○ 乗車人員(一日平均)	60万人	▲	59万人
○ 乗車料収入(年間)	346億3,600万円	▲	343億6,700万円
○ 乗車料収入(一日平均)	9,489万円	▲	9,390万円
○ 経常損益	▲5,093万円	▲	▲7億3,900万円

軌道事業 / 東京さくらトラム(都電荒川線)		平成28年度	平成27年度
○ 乗車人員(年間)	1,667万人	↓	1,671万人
○ 乗車人員(一日平均)	4万5,677人	↓	4万5,658人
○ 乗車料収入(年間)	20億5,300万円	↓	20億5,800万円
○ 乗車料収入(一日平均)	562万4,409円	↓	562万3,841円
○ 経常損益	▲2億2,500万円	↓	▲1億6,700万円

新交通事業 / 日暮里・舎人ライナー		平成28年度	平成27年度
○ 乗車人員(年間)	2,921万人	↓	2,773万人
○ 乗車人員(一日平均)	8万20人	↓	7万5,768人
○ 乗車料収入(年間)	51億2,000万円	↓	48億7,600万円
○ 乗車料収入(一日平均)	1,403万円	↓	1,332万円
○ 経常損益	▲8億1,800万円	↓	▲9億9,400万円

懸垂電車事業 / 上野動物園モノレール		平成28年度	平成27年度
○ 乗車人員(年間)	102万人	↓	101万人
○ 乗車人員(一日平均)	3,294人	↓	3,239人
○ 乗車料収入(年間)	1億1,800万円	↓	1億1,700万円
○ 乗車料収入(一日平均)	38万2,210円	↓	37万5,996円
○ 経常損益	3,908万円	↓	3,420万円

電気事業 / 発電		平成28年度	平成27年度
○ 販売電力量(年間)	10万3,480 MWh	↓	9万6,570MWh
○ 電力料収入(年間)	16億1,600万円	↓	15億800万円
○ 経常損益	7億7,000万円	↓	5億8,700万円

(注)

1 乗車人員、乗車料収入、経常損益、営業損益について、億を超える数値は百万の位以下を、億を超えない数値は万の位以下を四捨五入しているため、合計等と一致しない場合がある。

2 一日平均は営業日数で除したもの

■ 財務指標

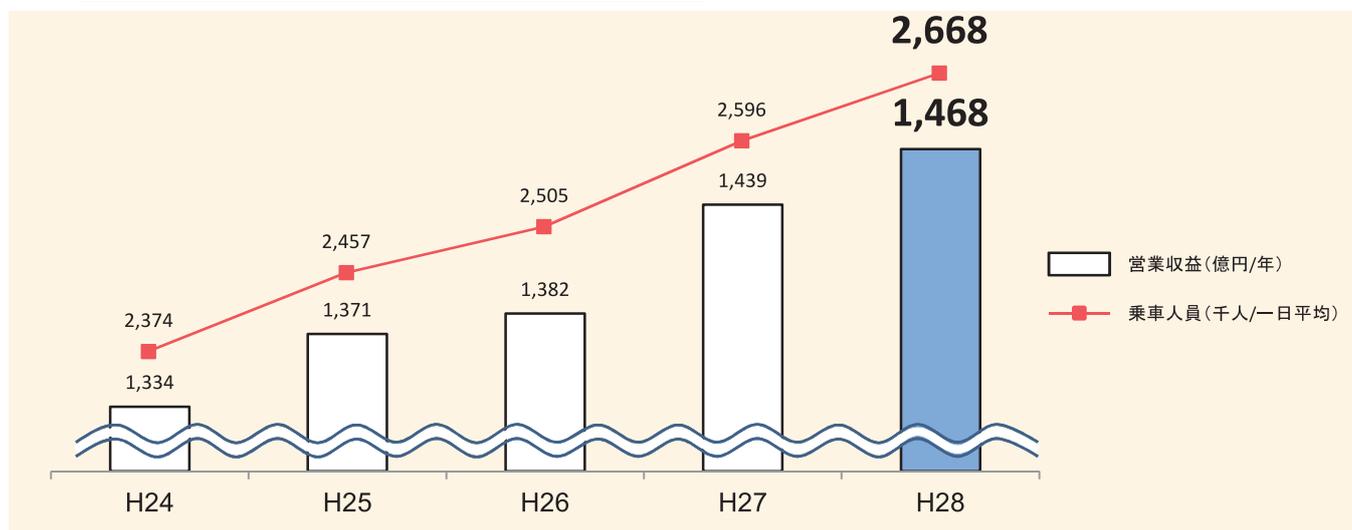
企業の経営活動の結果は決算に集約されます。交通局の経営状況を客観的に評価するため、決算の数値に基づいて、財務に関する指標を算定しました。指標については、安定した事業運営の基本である収益性の観点から選定しました(使用数値は税抜き)。

(1) 営業収益

売上に相当し、乗車料、電力料、関連事業収入などが含まれます。

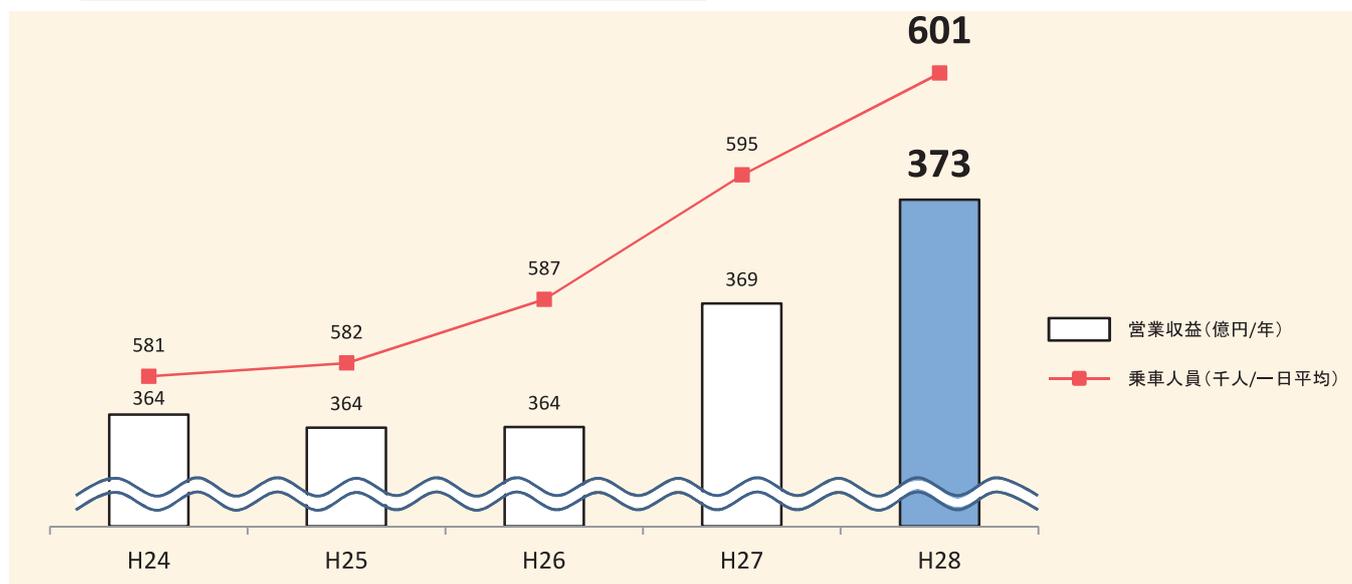
◆ 都営地下鉄

乗車人員が増加し、営業収益は増加しました。



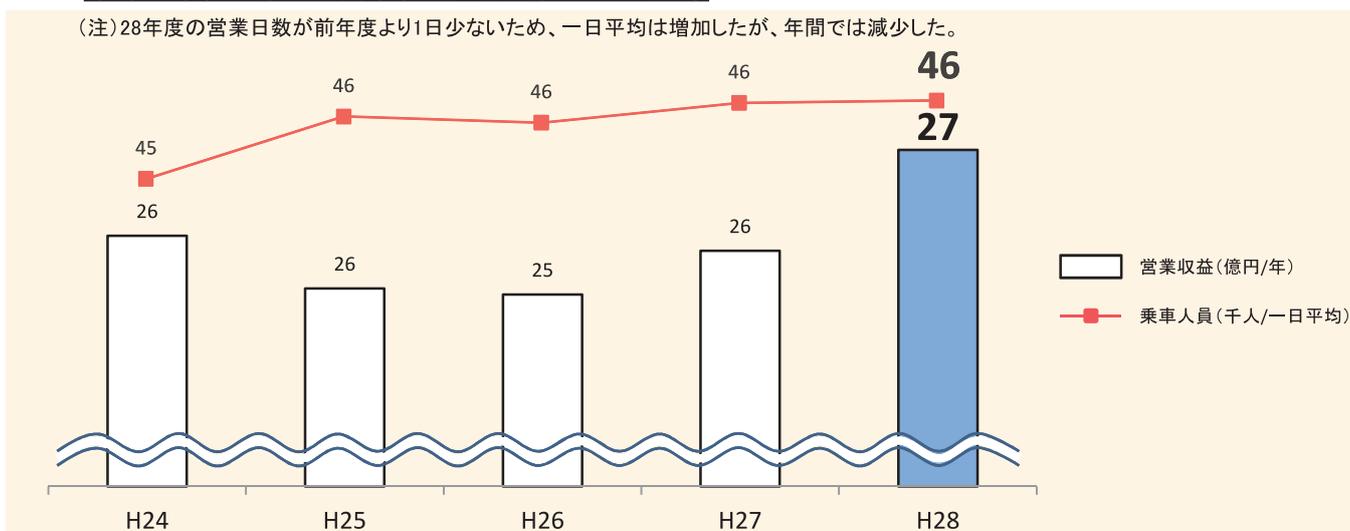
◆ 都営バス

乗車人員が増加し、営業収益は増加しました。

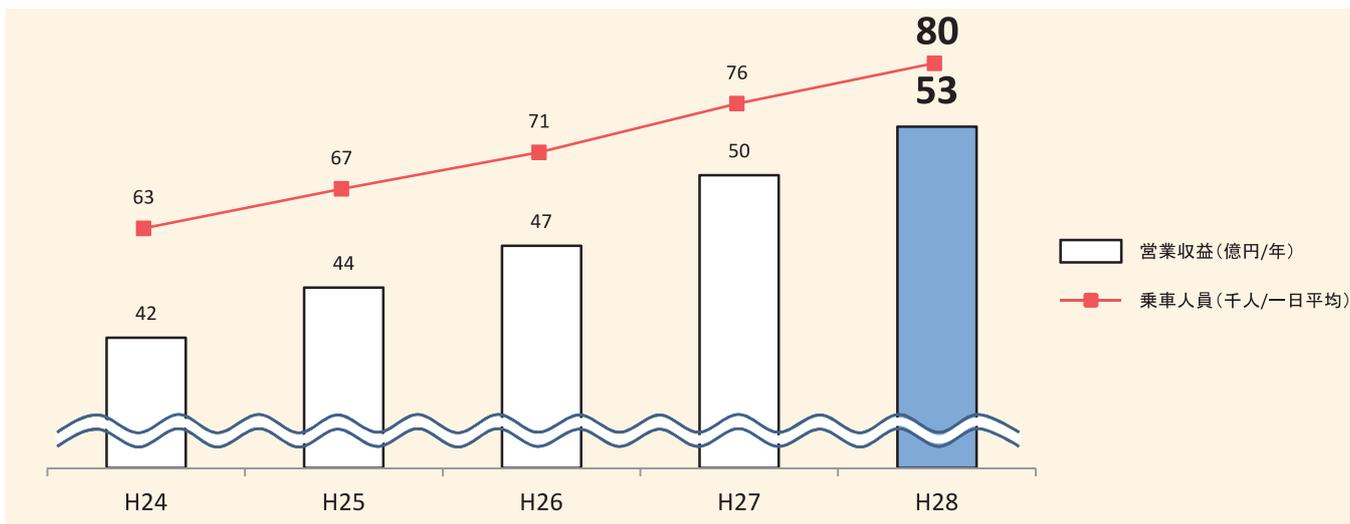


◆ **東京さくらトラム（都電荒川線）**
乗車人員が増加し、営業収益は増加しました。

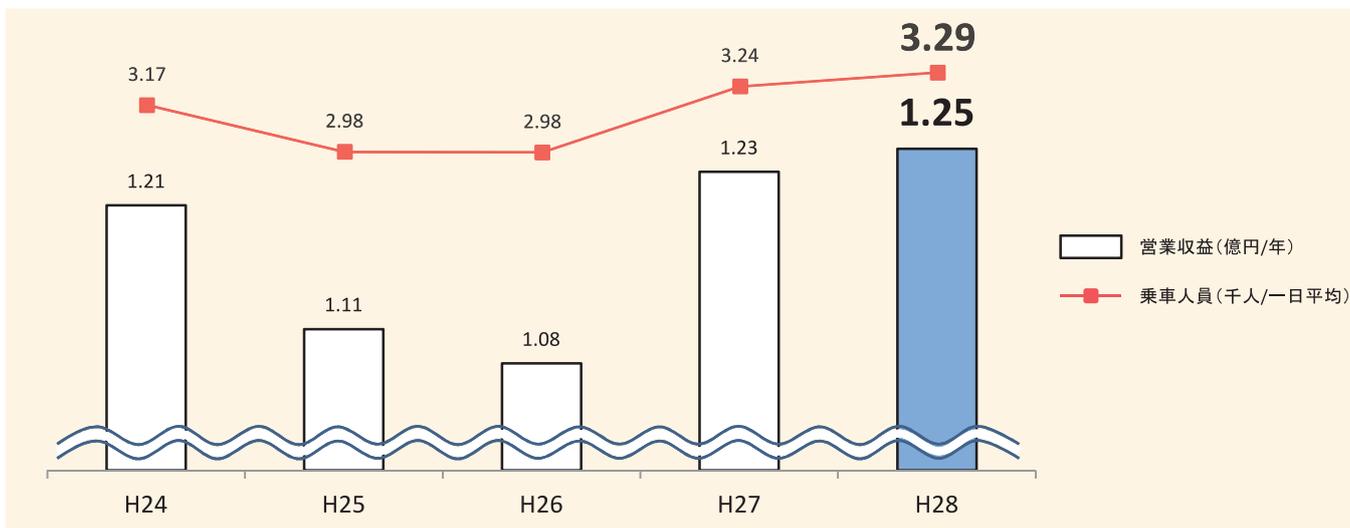
（注）28年度の営業日数が前年度より1日少ないため、一日平均は増加したが、年間では減少した。



◆ **日暮里・舎人ライナー**
乗車人員が増加し、営業収益は増加しました。

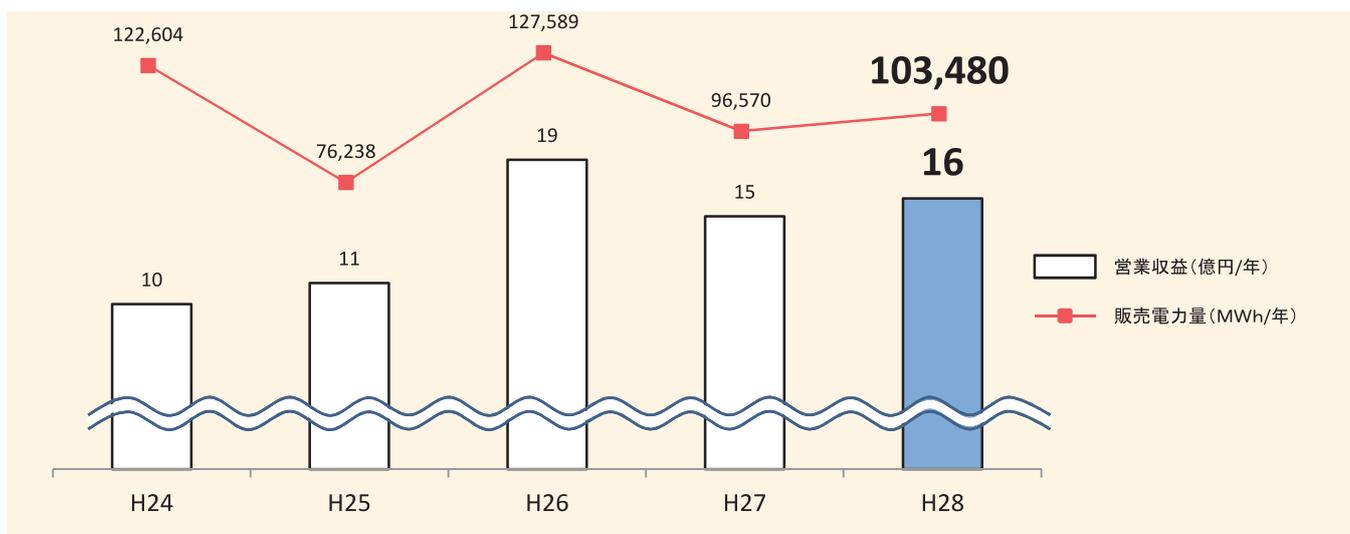


◆ **上野動物園モノレール**
乗車人員が増加し、営業収益は増加しました。



◆ 発電

販売電力量が増加し、営業収益は増加しました。



◆ 参考: 関連事業

不動産収入等が増加し、営業収益は増加しました。

(単位: 百万円)

	H24	H25	H26	H27	H28
営業収益	10,798	10,736	10,399	10,437	10,630

(注)

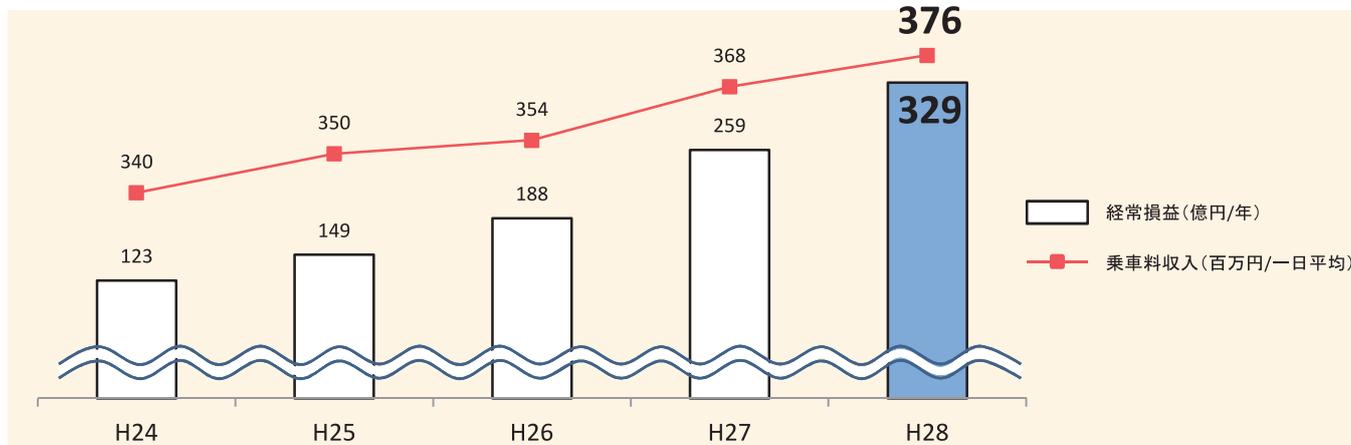
- 1 関連事業の営業収益は、各事業の営業収益に含まれる。
- 2 関連事業の営業収益には、時刻表データの使用許諾料等雑入を含む。

(2) 経常損益

企業の継続的な活動による損益で、本業の損益に財産収入や支払利息などを加えたものです。

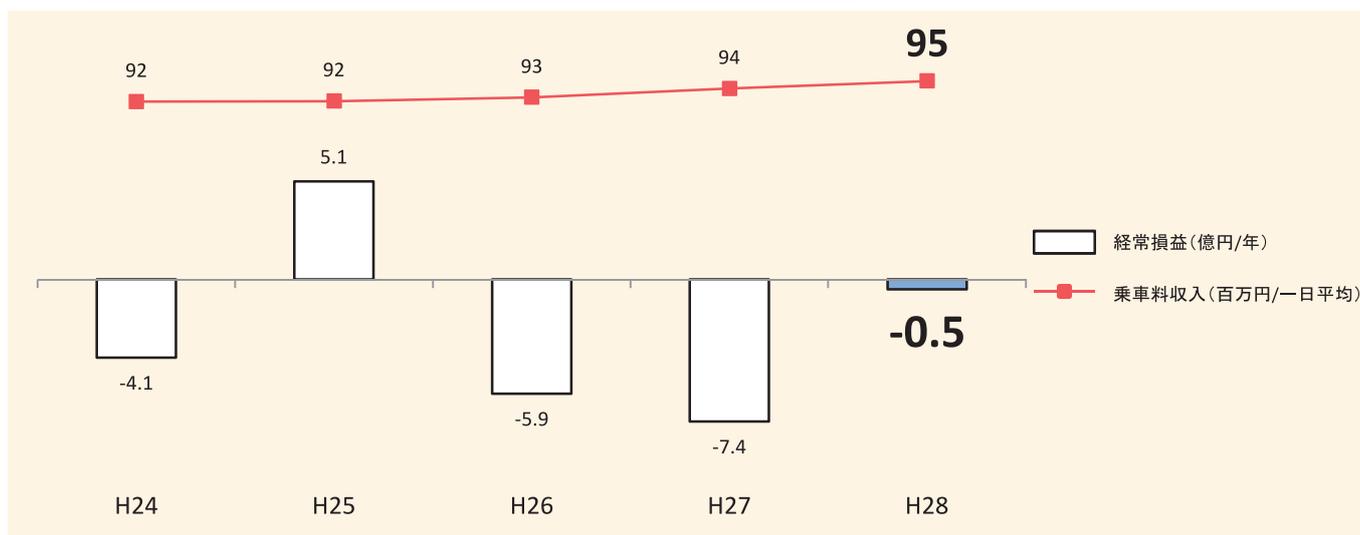
◆ 都営地下鉄

乗車料収入は増加し、経常利益を計上しました。



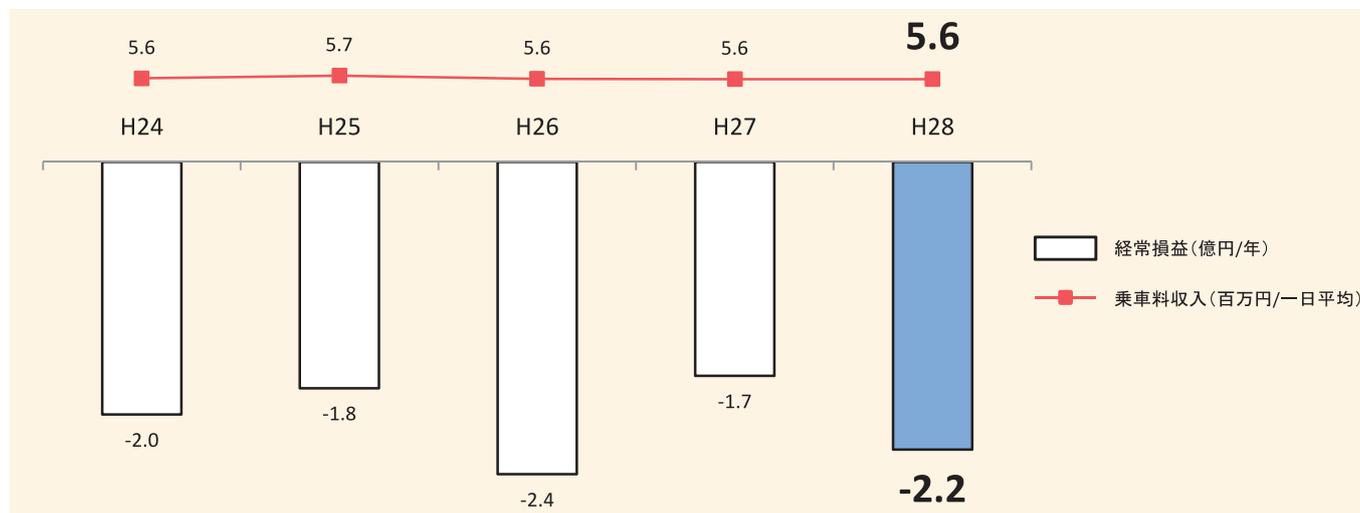
◆ 都営バス

乗車料収入は増加したものの、経常損失を計上しました。



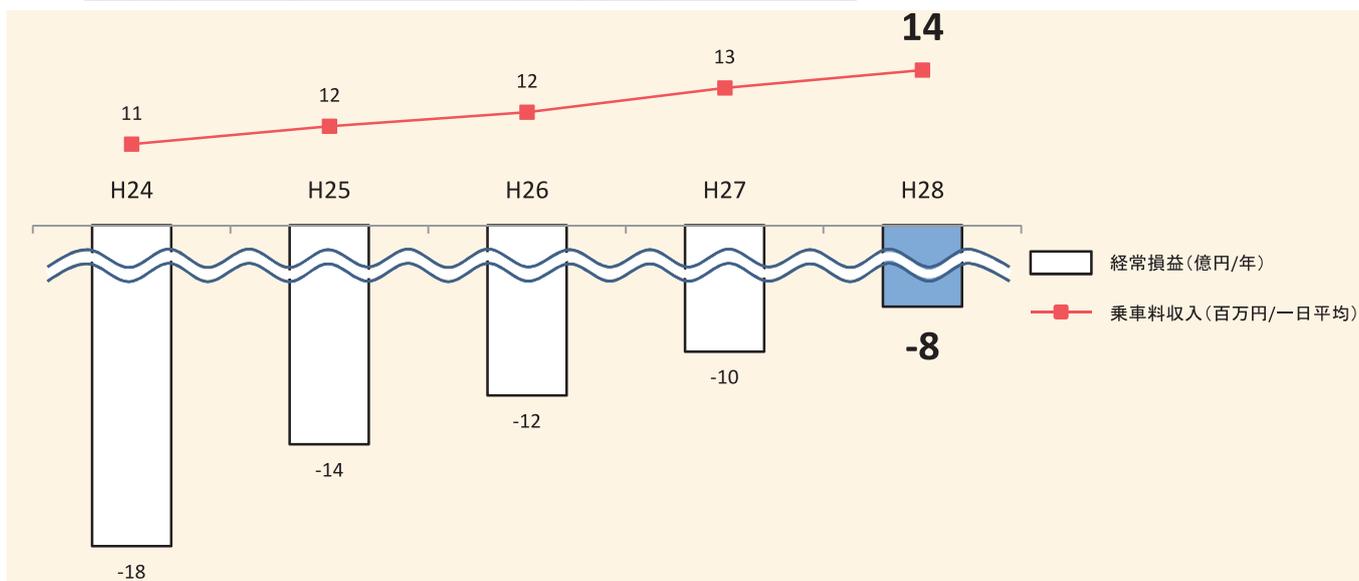
◆ 東京さくらトラム(都電荒川線)

乗車料収入は一日平均では増加したものの、経常損失を計上しました。



◆ 日暮里・舎人ライナー

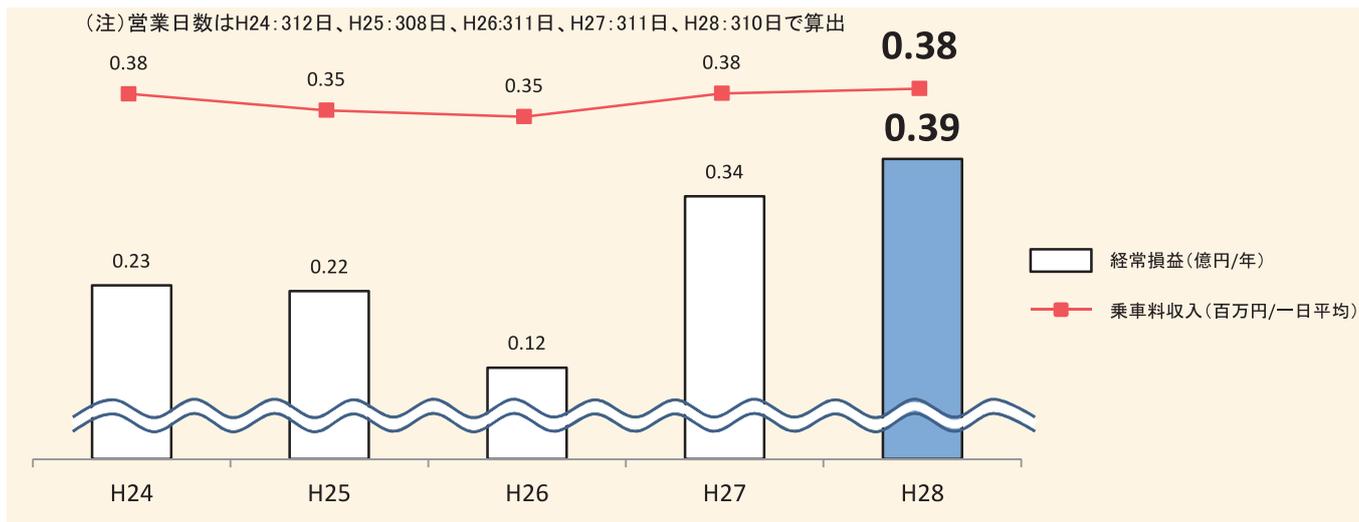
乗車料収入は増加したものの、経常損失を計上しました。



◆ 上野動物園モノレール

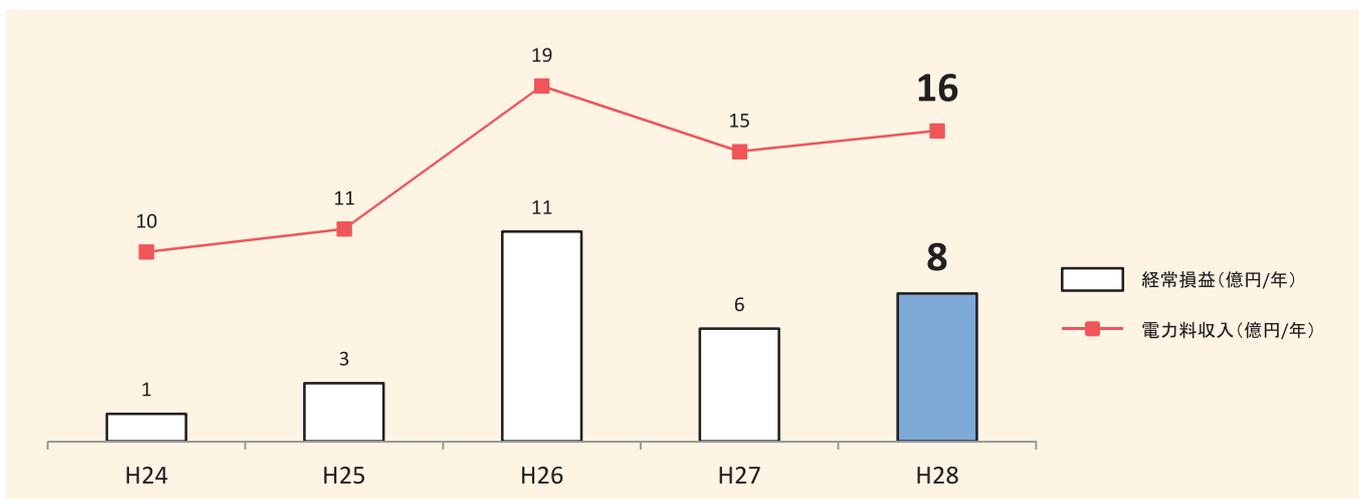
乗車料収入は増加し、経常利益を計上しました。

(注)営業日数はH24:312日、H25:308日、H26:311日、H27:311日、H28:310日で算出



◆ 発電

電力料収入は増加し、経常利益を計上しました。



経営の状況(参考資料)

■ 平成28年度運輸成績表

事業名	車両数 期末 (両)	走行キロ 年間 (千km)	輸送人員		乗車料収入(税抜き)		
			年間 (千人)	一日平均 (人)	年間 (百万円)	一日平均 (千円)	
都 営 地 下 鉄	1,132	120,380	973,642	2,667,514	137,325	376,232	
浅 草 線	216	22,541	262,382	718,855	30,648	83,968	
	三 田 線	222	21,127	233,003	638,365	28,958	79,338
	新 宿 線	254	31,346	272,249	745,889	35,617	97,579
	大 江 戸 線	440	45,366	340,772	933,621	42,102	115,347
都 営 バ ス	1,469	46,932	219,544	601,490	34,637	94,894	
乗 合	1,464	46,594	219,009	600,023	34,311	94,002	
	貸 切	5	338	535	1,467	326	892
東 京 さ くら ト ラ ム (都 電 荒 川 線)	36	1,489	16,672	45,677	2,053	5,624	
日 暮 里 ・ 舎 人 ラ イ ナ ー	85	7,731	29,207	80,020	5,120	14,027	
上 野 動 物 園 モ ノ レ ー ル	2	21	1,021	3,294	118	382	
合 計	2,724	176,553	1,240,086	3,397,498	179,253	491,102	
発 電	水力発電所 3か所	多摩川第一発電所 多摩川第三発電所 白丸発電所	認可最大出力/19,000kW 認可最大出力/16,400kW 認可最大出力/ 1,100kW	販売電力量 電力料収入	103,480MWh 1,616百万円		

(注)

- 1 都営地下鉄の輸送人員合計は、自線内相互の乗換人員を1人として計算したものであり、4線の輸送人員の単純合計ではない。
- 2 上野動物園モノレールは、動物園休園日及び次の期間運転休止している(車両検査のため平成28年11月28日から同12月12日まで運行休止)。
- 3 一日平均は、年間の輸送人員及び乗車料収入を営業日数で除したものである(営業日数:上野動物園モノレール310日、その他365日)。

平成28年度決算総括表

(単位:百万円)

科目	会計	高速電車 事業会計	交通事業会計				電気事業 会計	合計	
			自動車運送	軌道	新交通	懸垂電車			計
営業収益		146,773	37,275	2,738	5,277	125	45,414	1,630	193,817
乗車料・電力料		137,325	34,636	2,053	5,120	118	41,928	1,616	180,869
その他		9,448	2,638	685	157	7	3,487	14	12,949
営業外収益		17,225	1,571	2,896	174	98	4,738	41	22,004
一般会計補助金		4,991	1,302	42	30	-	1,375	1	6,367
長期前受金戻入		9,146	151	19	1	-	172	26	9,344
その他		3,089	117	2,834	143	98	3,192	13	6,294
特別利益		41	2,054	-	-	-	2,054	-	2,095
計		164,039	40,900	5,633	5,451	223	52,207	1,671	217,917
営業費用		120,803	38,564	3,003	5,735	86	47,388	901	169,093
人件費		35,159	25,531	1,142	948	35	27,657	210	63,026
物件費		42,323	10,409	1,176	2,711	51	14,346	487	57,156
減価償却費		43,321	2,624	684	2,077	-	5,385	204	48,911
営業外費用		10,325	333	2,855	533	98	3,819	0	14,144
利子及取扱費		7,519	157	11	385	-	553	-	8,072
その他		2,805	175	2,844	149	98	3,266	0	6,072
特別損失		-	7	0	-	-	7	-	7
計		131,128	38,903	5,858	6,269	184	51,214	901	183,243
営業損益		25,970	▲1,289	▲265	▲459	39	▲1,974	729	24,725
経常損益		32,871	▲51	▲225	▲818	39	▲1,055	770	32,585
償却前損益		67,046	2,422	440	1,258	39	4,159	947	72,152
純損益		32,911	1,996	▲225	▲818	39	992	770	34,674
前年度末繰越損益		▲327,530	1,215	124	▲13,973	196	▲12,438	-	▲339,969
その他未処分利益剰余金変動額		-	-	-	-	-	-	-	-
当年度末未処分利益剰余金		▲294,619	3,211	▲101	▲14,792	235	▲11,446	770	▲305,295
利益剰余金処分予定額		-	-	-	-	-	-	770	770
当年度末繰越損益予定額		▲294,619	3,211	▲101	▲14,792	235	▲11,446	-	▲306,065
収入									
企業債		5,000	2,102	1,190	3,700	-	6,992	-	11,992
一般会計出資金		5,208	-	-	938	-	938	-	6,146
国庫補助金		827	1	-	-	-	1	-	827
一般会計補助金		904	19	-	-	-	19	-	923
その他		20,020	115	0	-	-	115	-	20,135
計		31,959	2,237	1,190	4,638	-	8,065	-	40,023
支出									
建設改良費		24,300	9,170	1,267	4,633	-	15,069	118	39,488
企業債償還金		31,126	2,680	-	-	-	2,680	-	33,806
投資		12,299	-	-	-	-	-	-	12,299
計		67,725	11,850	1,267	4,633	-	17,749	118	85,592
収支差額		▲35,766	▲9,613	▲77	5	-	▲9,685	▲118	▲45,569
翌年度への繰越工事資金		▲586	▲532	▲155	▲8	-	▲695	-	▲1,281
差引資金不足額		▲36,353	▲10,146	▲231	▲3	-	▲10,380	▲118	▲46,851
補填財源等									
損益勘定留保資金		36,089	2,578	699	2,099	-	5,376	184	41,649
前年度からの繰越工事資金		2,175	44	63	54	-	160	20	2,356
その他		33,984	2,400	▲201	▲745	-	1,454	783	36,221
計		72,248	5,022	561	1,408	-	6,990	987	80,225
当年度資金残(▲不足)		35,895	▲5,124	329	1,405	-	▲3,390	869	33,374
当年度末累積資金残		105,602	14,143	1,788	3,551	-	19,482	4,056	129,139

(注) 表示単位未満を四捨五入しており、合計等と一致しない場合がある。

平成28年度貸借対照表

(平成29年3月31日、単位:百万円)

	高速電車事業会計	交通事業会計	電気事業会計
(資産の部)			
1 固定資産	1,372,641	183,301	3,714
(1)有形固定資産	1,345,251	73,915	3,704
(2)無形固定資産	1,474	86	9
(3)投資その他の資産	25,916	109,300	1
2 流動資産	187,696	37,525	4,332
(1)現金及び預金	154,356	30,644	3,952
(2)未収金	16,832	4,364	90
(3)有価証券	7,972	1,849	179
(4)貯蔵品	2,271	193	-
(5)前払費用	42	14	-
(6)前払金	6,193	459	111
(7)未収収益	20	1	0
(8)その他流動資産	11	-	-
資産合計	1,560,338	220,825	8,046
(負債の部)			
3 固定負債	807,066	61,580	175
(1)企業債	322,196	42,072	-
(2)長期借入金	245,000	-	-
(3)リース債務	438	158	3
(4)引当金	30,806	19,349	172
(5)その他固定負債	208,627	-	-
4 流動負債	81,509	17,348	276
(1)企業債	51,413	2,090	-
(2)リース債務	155	56	1
(3)未払金	18,481	6,093	259
(4)未払費用	484	42	-
(5)前受金	7,279	910	-
(6)引当金	2,294	1,732	15
(7)預り金	1,402	2,611	1
(8)その他流動負債	-	3,814	-
5 繰延収益	423,304	1,831	678
(1)長期前受金	423,304	1,831	678
負債合計	1,311,878	80,758	1,129
(資本の部)			
6 資本金	443,463	52,687	2,961
(1)一般会計出資金	443,463	8,328	-
(2)再評価積立金組入額	-	1,261	-
(3)減債積立金組入額	-	30,900	1,633
(4)その他剰余金組入額	-	12,198	1,328
7 剰余金	▲195,003	85,726	3,955
(1)資本剰余金	99,616	172	0
(2)利益剰余金(▲欠損)金	▲294,619	85,554	3,955
8 評価差額等	-	1,653	-
(1)その他有価証券評価差額	-	1,653	-
資本合計	248,460	140,067	6,916
負債資本合計	1,560,338	220,825	8,046

(注) 表示単位未満を四捨五入しており、合計等と一致しない場合がある。

平成28年度損益計算書

(平成28年4月1日～平成29年3月31日、単位:百万円)

	高速電車事業会計	交通事業会計				計	電気事業会計
		自動車運送	軌道	新交通	懸垂電車		
営業収益	146,773	37,275	2,738	5,277	125	45,414	1,630
営業費用	120,803	38,564	3,003	5,735	86	47,388	901
営業損益	25,970	▲1,289	▲265	▲459	39	▲1,974	729
営業外収益	17,225	1,571	2,896	174	98	4,738	41
営業外費用	10,325	333	2,855	533	98	3,819	0
経常損益	32,871	▲51	▲225	▲818	39	▲1,055	770
特別損益	41	2,047	▲0	-	-	2,047	-
当年度純損益	32,911	1,996	▲225	▲818	39	992	770
前年度繰越利益剰余金(▲欠損)金	▲327,530	1,215	124	▲13,973	196	▲12,438	-
その他未処分利益剰余金変動額	-	-	-	-	-	-	-
当年度末未処分利益剰余金(▲欠損)金	▲294,619	3,211	▲101	▲14,792	235	▲11,446	770

(注) 表示単位未満を四捨五入しており、合計等と一致しない場合がある。

■ 平成28年度剰余金計算書(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)

◆ 高速電車事業会計

(単位:百万円)

	資本金	剰余金						資本合計	
		資本剰余金				利益剰余金			
		事業施設 受贈財産 評価額	国庫補助金	一般会計補助金	その他資本剰余金	資本剰余金 合計	未処理欠損金		欠損金 合計
前年度末残高	438,255	519	48,612	50,428	58	99,616	▲ 327,530	▲ 327,530	210,340
前年度処分額									
議会の議決による処分額									
処分後残高	438,255	519	48,612	50,428	58	99,616	▲ 327,530	▲ 327,530	210,340
当年度変動額	5,208						32,911	32,911	38,119
一般会計出資金の受入れ	5,208								5,208
当年度純利益							32,911	32,911	32,911
当年度末残高	443,463	519	48,612	50,428	58	99,616	▲ 294,619	▲ 294,619	248,460

◆ 交通事業会計

(単位:百万円)

	資本金	剰余金						評価差額等	資本合計
		資本剰余金		利益剰余金					
		事業施設 受贈財産 評価額	資本剰余金 合計	都営交通 事業経営改善 積立金	建設改良 積立金	未処理欠損金	利益剰余金 合計		
前年度末残高	51,749	172	172	90,000	7,000	▲ 12,438	84,562	9,463	145,946
前年度処分額									
議会の議決による処分額									
処分後残高	51,749	172	172	90,000	7,000	▲ 12,438	84,562	9,463	145,946
当年度変動額	938					992	992	▲ 7,810	▲ 5,879
一般会計出資金の受入れ	938								938
当年度純利益						992	992		992
その他有価証券評価差額								▲ 7,810	▲ 7,810
当年度末残高	52,687	172	172	90,000	7,000	▲ 11,446	85,554	1,653	140,067

◆ 電気事業会計

(単位:百万円)

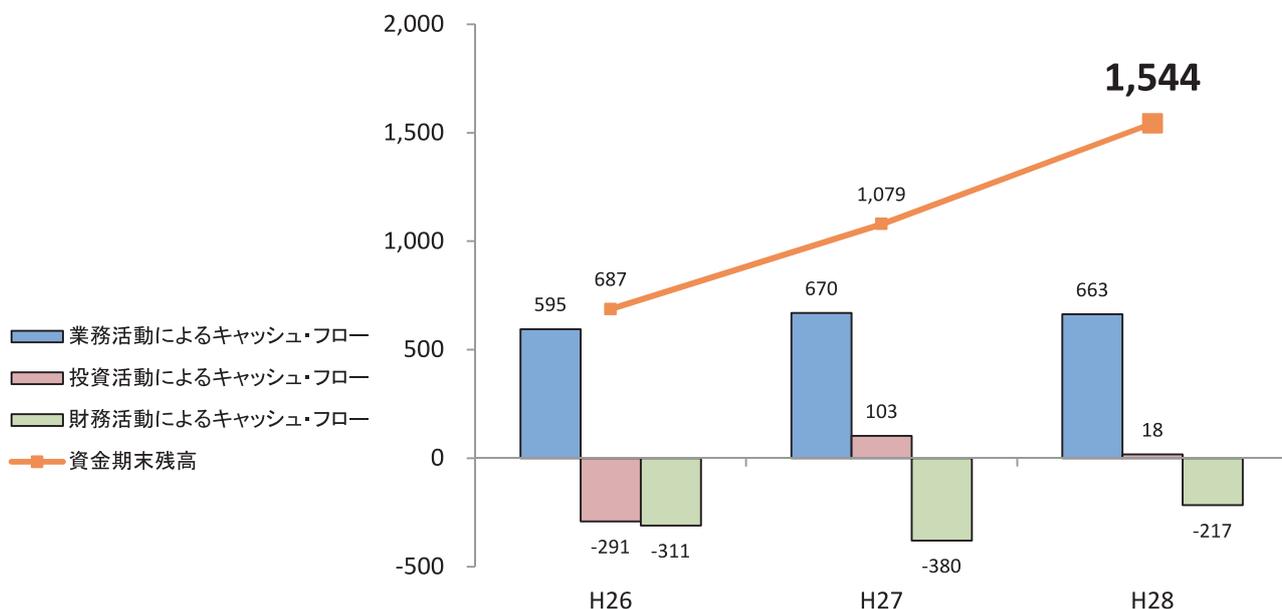
	資本金	剰余金							資本合計
		資本剰余金		利益剰余金					
		事業施設 受贈財産 評価額	資本剰余金 合計	利益積立金	中小水力 発電開発 改良積立金	建設改良 積立金	未処分利益剰余金	利益剰余金 合計	
前年度末残高	2,414	0	0	305	804	1,490	1,133	3,732	6,147
前年度処分額	547					587	▲ 1,133	▲ 547	
議会の議決による処分額	547					587	▲ 1,133	▲ 547	
資本金への組入れ	547						▲ 547	▲ 547	
建設改良積立金の積立						587	▲ 587		
処分後残高	2,961	0	0	305	804	2,076		3,185	6,147
当年度変動額							770	770	770
当年度純利益							770	770	770
当年度末残高	2,961	0	0	305	804	2,076	770	3,955	6,916

(注)

- 1 この計算書における▲表記は、減少、損失又は欠損を示すものである。
- 2 表示単位未満を四捨五入しており、合計等と一致しない場合がある。

■ キャッシュ・フロー計算書

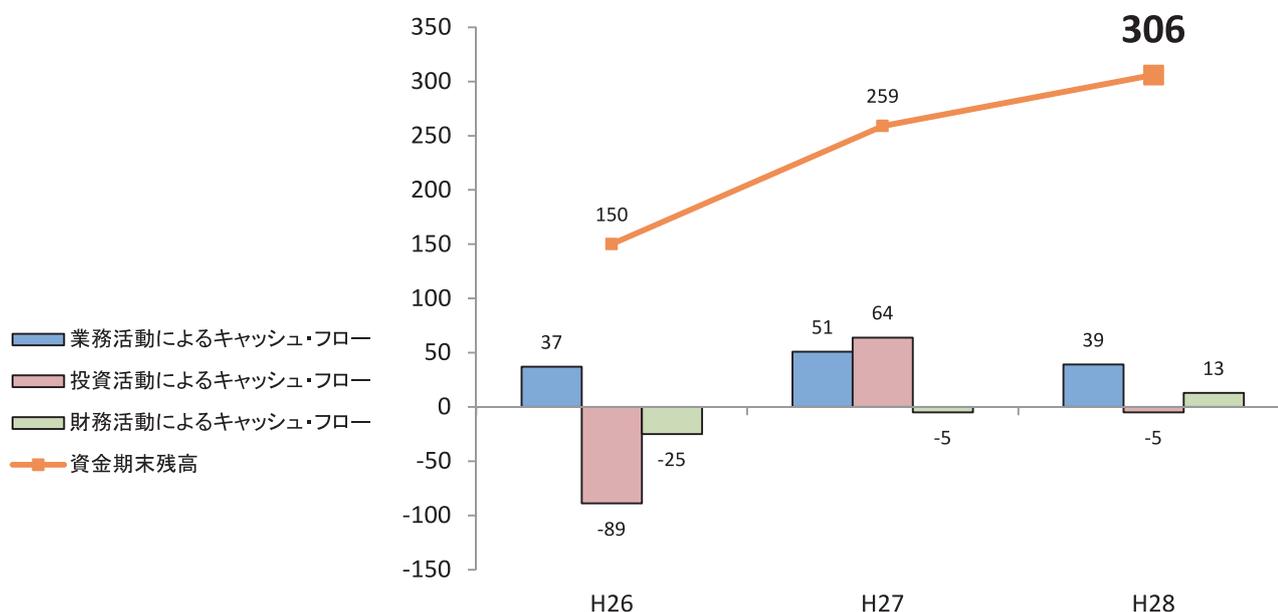
◆ 高速電車事業(単位:億円)



(単位:百万円)	H26.4.1~H27.3.31	H27.4.1~H28.3.31	H28.4.1~H29.3.31
1 業務活動によるキャッシュ・フロー			
当年度純利益(▲は損失)	18,578	25,857	32,911
減価償却費	46,447	45,596	43,321
固定資産除却損等	1,571	1,217	1,912
減損損失	780	-	-
引当金の増減額(▲は減少)	2,399	3,117	1,155
長期前受金戻入額	▲ 9,155	▲ 9,226	▲ 9,146
受取利息及び配当金	▲ 201	▲ 205	▲ 113
支払利息及び企業債取扱諸費	10,048	8,478	7,519
固定資産売却損益(▲は益)	▲ 38	▲ 0	▲ 41
未収金の増減額(▲は増加)	2,684	▲ 1,429	▲ 2,048
未払金の増減額(▲は減少)	▲ 216	1,710	▲ 2,587
貯蔵品の増減額(▲は増加)	62	▲ 190	27
その他流動資産の増減額(▲は増加)	47	489	671
その他流動負債の増減額(▲は減少)	▲ 4,263	▲ 90	170
小計	68,743	75,324	73,753
利息及び配当金の受取額	225	197	148
利息及び企業債取扱諸費の支払額	▲ 9,467	▲ 8,530	▲ 7,565
業務活動によるキャッシュ・フロー	59,500	66,992	66,336
2 投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	▲ 17,661	▲ 21,201	▲ 26,854
有形固定資産の売却による収入	65	0	55
無形固定資産の取得による支出	▲ 489	▲ 106	▲ 855
定期預金の預入による支出	▲ 20,000	▲ 16,000	▲ 3,000
定期預金の払戻による収入	14,500	20,000	10,000
有価証券の取得による支出	▲ 69,242	▲ 42,037	▲ 16,972
有価証券の償還による収入	61,591	69,242	38,044
国庫補助金による収入	590	163	794
一般会計からの繰入金による収入	826	300	909
その他資本収入	753	0	5
その他資本支出	▲ 0	▲ 57	▲ 319
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 29,068	10,304	1,808
3 財務活動によるキャッシュ・フロー			
企業債による収入	5,234	5,000	5,000
企業債の償還による支出	▲ 41,193	▲ 46,573	▲ 31,126
一般会計からの出資による収入	4,850	3,602	4,485
リース債務の返済による支出	▲ 1	▲ 39	▲ 85
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 31,110	▲ 38,009	▲ 21,726
資金増加額(▲は減少)	▲ 678	39,287	46,418
資金期首残高	69,330	68,652	107,938
資金期末残高	68,652	107,938	154,356

(注) 表示単位未満を四捨五入しており、合計等と一致しない場合がある。

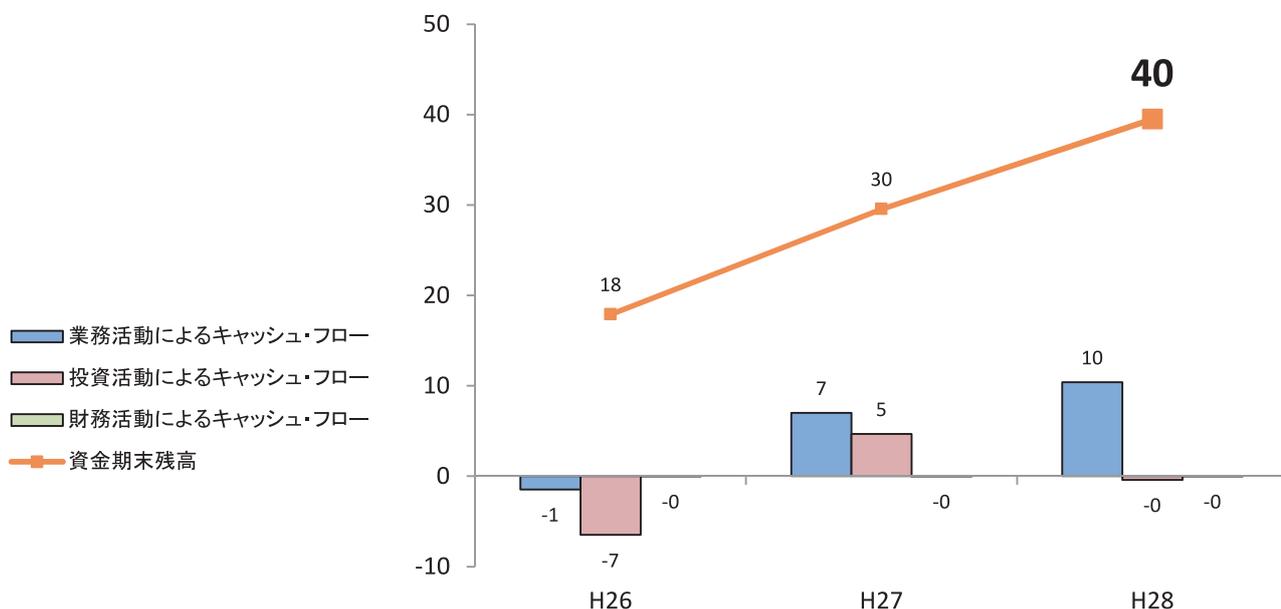
◆ 交通事業(単位:億円)



(単位:百万円)	H26.4.1~H27.3.31	H27.4.1~H28.3.31	H28.4.1~H29.3.31
1 業務活動によるキャッシュ・フロー			
当年度純利益(▲は損失)	▲ 3,471	▲ 1,844	992
減価償却費	5,019	5,138	5,385
固定資産除却損等	135	140	155
引当金の増減額(▲は減少)	1,787	205	505
長期前受金戻入額	▲ 183	▲ 208	▲ 172
受取利息及び配当金	▲ 63	▲ 59	▲ 34
支払利息及び企業債取扱諸費	676	610	553
固定資産売却損益(▲は益)	▲ 100	▲ 21	▲ 2,047
未収金の増減額(▲は増加)	▲ 389	828	▲ 479
未払金の増減額(▲は減少)	833	648	▲ 365
貯蔵品の増減額(▲は増加)	46	5	▲ 1
その他流動資産の増減額(▲は増加)	124	256	433
その他流動負債の増減額(▲は減少)	▲ 167	▲ 121	▲ 470
小計	4,247	5,577	4,456
利息及び配当金の受取額	63	59	33
利息及び企業債取扱諸費の支払額	▲ 626	▲ 577	▲ 555
業務活動によるキャッシュ・フロー	3,684	5,059	3,934
2 投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	▲ 3,180	▲ 4,005	▲ 10,760
有形固定資産の売却による収入	221	250	2,124
無形固定資産の取得による支出	▲ 24	▲ 7	▲ 55
有価証券の取得による支出	▲ 20,184	▲ 10,065	▲ 1,849
有価証券の償還による収入	15,019	20,184	10,065
一般会計からの繰入金による収入	29	17	17
その他資本収入	57	39	47
その他資本支出	▲ 801	▲ 52	▲ 47
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 8,863	6,361	▲ 459
3 財務活動によるキャッシュ・フロー			
企業債による収入	3,192	5,204	6,992
企業債の償還による支出	▲ 2,700	▲ 2,820	▲ 2,680
一般会計からの出資による収入	794	908	849
割賦買取による支出	▲ 3,814	▲ 3,814	▲ 3,814
リース債務の返済による支出	▲ 0	▲ 14	▲ 31
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 2,529	▲ 537	1,315
資金増加額(▲は減少)	▲ 7,708	10,883	4,790
資金期首残高	22,678	14,970	25,854
資金期末残高	14,970	25,854	30,644

(注) 表示単位未満を四捨五入しており、合計等と一致しない場合がある。

◆ 電気事業(単位:億円)



(単位:百万円)	H26.4.1~H27.3.31	H27.4.1~H28.3.31	H28.4.1~H29.3.31
1 業務活動によるキャッシュ・フロー			
当年度純利益(▲は損失)	▲ 59	587	770
減価償却費	190	192	204
固定資産除却損	9	37	6
引当金の増減額(▲は減少)	▲ 253	7	15
長期前受金戻入額	▲ 45	▲ 43	▲ 26
受取利息及び配当金	▲ 3	▲ 3	▲ 1
固定資産売却損益(▲は益)	-	0	-
未収金の増減額(▲は増加)	▲ 21	▲ 83	102
未払金の増減額(▲は減少)	33	1	▲ 32
その他流動負債の増減額(▲は減少)	▲ 1	0	▲ 0
小計	▲ 150	696	1,038
利息及び配当金の受取額	3	3	1
業務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 147	699	1,038
2 投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	▲ 459	▲ 216	▲ 754
有形固定資産の売却による収入	-	0	-
無形固定資産の取得による支出	▲ 11	▲ 0	▲ 0
有価証券の取得による支出	▲ 1,574	▲ 892	▲ 179
有価証券の償還による収入	1,390	1,574	892
その他資本収入	5	0	-
その他資本支出	▲ 0	▲ 0	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 650	467	▲ 41
3 財務活動によるキャッシュ・フロー			
リース債務の返済による支出	▲ 0	▲ 0	▲ 1
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 0	▲ 0	▲ 1
資金増加額(▲は減少)	▲ 797	1,166	996
資金期首残高	2,587	1,790	2,956
資金期末残高	1,790	2,956	3,952

(注) 表示単位未満を四捨五入しており、合計等と一致しない場合がある。

事業別経営指標比較・分析

交通局の経営状況について、指標を用いて、他都市との比較・分析を行いました。

なお、各指標は平成27年度までの数値を使用しています。

また、経営レポート2016から引き続き、「地下鉄路線別収支状況」及び「バス系統別収支状況」を掲載しました。

引き続き、経営の透明性を高めていく観点から、積極的な経営情報の公開に取り組んでいきます。

◆ 比較対象団体

事業名	団体
高速電車事業 (9団体)	札幌市 仙台市 東京都 横浜市 名古屋市 京都市 大阪市 神戸市 福岡市
自動車運送事業 (26団体)	青森市 八戸市 仙台市 東京都 三宅村 八丈町 横浜市 川崎市 南アルプス市 伊那市 名古屋市 京都市 大阪市 高槻市 神戸市 尼崎市 伊丹市 松江市 宇部市 徳島市 北九州市 佐賀市 長崎県 佐世保市 鹿児島市 沖永良部バス企業団 苫小牧市(23年度廃止) 明石市(23年度廃止) 呉市(23年度廃止) 岩国市(26年度廃止) 鳴門市(24年度廃止) 小松島市(26年度廃止) 松浦市(26年度廃止) 薩摩川内市(23年度廃止) 熊本市(26年度廃止)
軌道事業 (5団体)	札幌市 函館市 東京都 熊本市 鹿児島市
新交通事業 (2団体) ※懸垂電車事業含む	東京都 大阪市
電気事業 (28団体)	北海道 岩手県 秋田県 山形県 美浦村(25年度開始) 栃木県 群馬県 東京都 神奈川県 新潟県 富山県 金沢市 山梨県 長野県 三重県 京都府 兵庫県(25年度開始) 鳥取県 島根県 岡山県 山口県 徳島県 愛媛県 高知県 福岡県 熊本県 大分県 宮崎県

(注)

- 1 使用数値は、総務省「地方公営企業決算状況調査」(平成23年度～平成27年度)による。平成28年度数値は本レポート作成時点で未公表
- 2 新交通事業の数値には懸垂電車事業の数値も含む。
- 3 各指標の「平均値」は上記の表の団体の平均(団体数は27年度の数値)

◆ 使用する指標

- 高速電車事業、自動車運送事業、軌道事業、新交通事業（懸垂電車事業を含む。）
⇒(1)～(13)の指標を使用
- 電気事業
⇒(1)～(3)、(8)、(9)、(14)～(16)の指標を使用

指標		指標の説明
(1)	経常収支比率(%)	当該年度において料金収入や一般会計からの繰入金等の収益で、人件費や支払利息等の費用をどの程度賄えているかを表す。
(2)	営業収支比率(%)	当該年度において料金収入等の営業活動から生じる収益で、人件費や燃料費、発電費等の営業費用をどの程度賄えているかを表す。
(3)	流動比率(%)	短期的な債務の支払能力を表す。
(4)	累積欠損金比率(%)	事業の規模に対する累積欠損金(営業活動により生じた損失で、前年度からの繰越利益剰余金等でも補填することができず、複数年度にわたって累積した損失のこと。)の状況を表す。
(5)	利用者1回当たり 運行経費(円)	利用者がバス等を1回利用するに当たり、費用がどれだけかかっているかを表す。
(6)	利用者1回当たり 他会計負担額(円)	利用者がバス等を1回利用するに当たり、一般会計等の他会計がどれだけ負担しているかを表す。
(7)	他会計負担比率(%)	人件費や支払利息等の費用が一般会計等の他会計の負担によってどの程度賄われているかを表す。
(8)	企業債残高 対料金収入比率(%)	料金収入に対する企業債残高の割合であり、企業債残高の規模を表す。
(9)	有形固定資産 減価償却率(%)	有形固定資産のうち償却対象資産の減価償却がどの程度進んでいるかを表す。
(10)	走行キロ当たりの 収入(円)	運行1キロ当たりでどれだけの収入をあげられているかを表す。
(11)	走行キロ当たりの 運送原価(円)	運行1キロ当たりでどれだけの経費がかかっているかを表す。
(12)	走行キロ当たりの 人件費(円)	運行1キロ当たりでどれだけの人件費がかかっているかを表す。
(13)	乗車効率(%)	車両1台の乗車定員に対する平均輸送人員の割合であり、定員当たりでどの程度乗車しているかを表す。
(14)	供給原価(円)	販売電力量1MWh当たりについて、どれだけの費用がかかっているかを表す。
(15)	設備利用率(%)	本来備えている発電能力と実際の発電電力量との割合であり、設備の利用状況や適正規模を判断する指標。
(16)	修繕費比率(%)	費用のうち、施設修繕、管理やメンテナンスにかかっている割合を表す。

高速電車事業 / 都営地下鉄

年間輸送人員

9.7 億人

営業キロ

109.0 km

都 営地下鉄は、浅草線・三田線・新宿線・大江戸線の4路線を営業し、平成28年度は、一日平均約267万人のお客様にご利用いただきました。

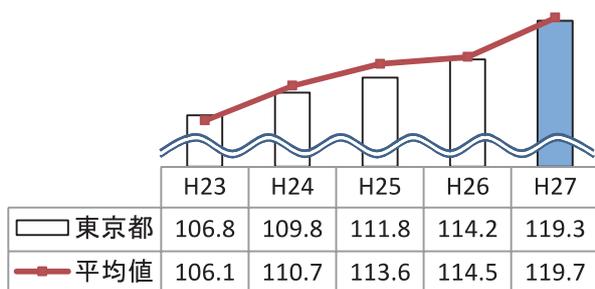
■ 経営の健全性

- 「経常収支比率」、「営業収支比率」ともに100%を上回っており、安定して黒字を計上している。
- 「累積欠損金比率」は平均値を下回っているものの、未だ高い水準にある。
- 「利用者1回当たりの他会計負担額」、「他会計負担比率」は平均値より低い水準で推移している。

経常収支比率(%)

= 経常収益/経常費用×100

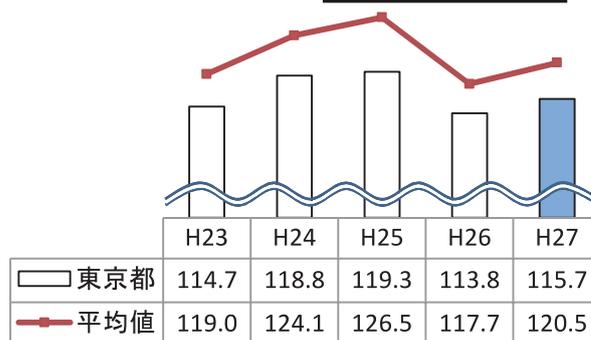
119.3 %



営業収支比率(%)

= 営業収益/営業費用×100

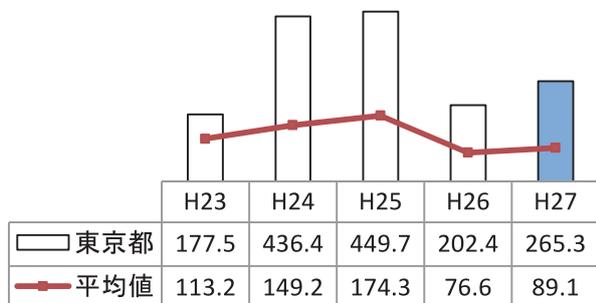
115.7 %



流動比率(%)

= 流動資産/流動負債 × 100

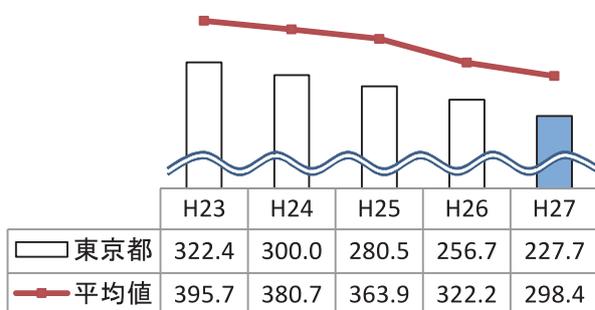
265.3 %



累積欠損金比率(%)

= 当年度未処理欠損金/営業収益 × 100

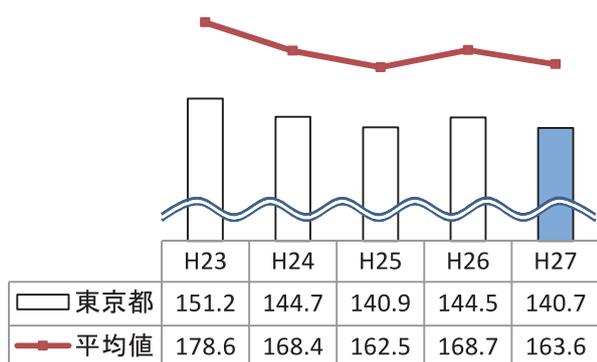
227.7 %



利用者1回当たり運行経費(円)

= 経常費用/年間輸送人員

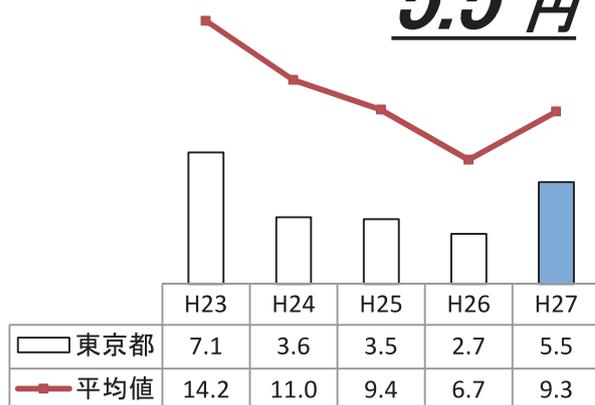
140.7 円



利用者1回当たり他会計負担額(円)

= (他会計補助金+他会計負担金)/年間輸送人員

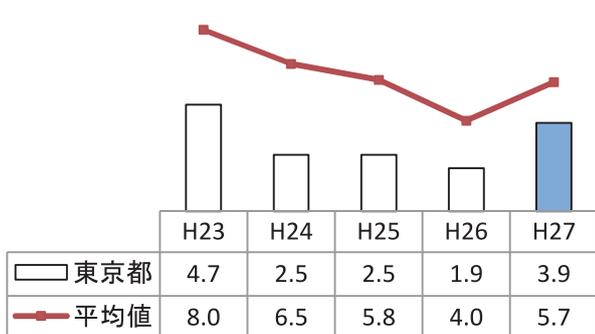
5.5 円



他会計負担比率(%)

= (他会計補助金+他会計負担金)/経常費用 × 100

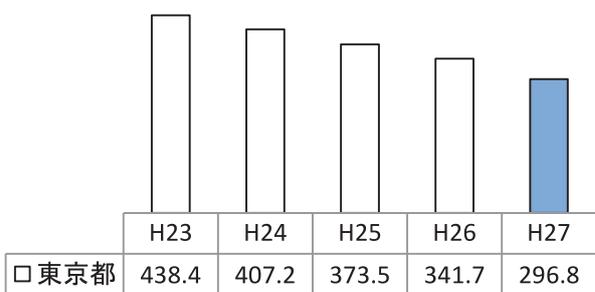
3.9 %



企業債残高対料金収入比率(%)

= 企業債年度末残高/料金収入 × 100

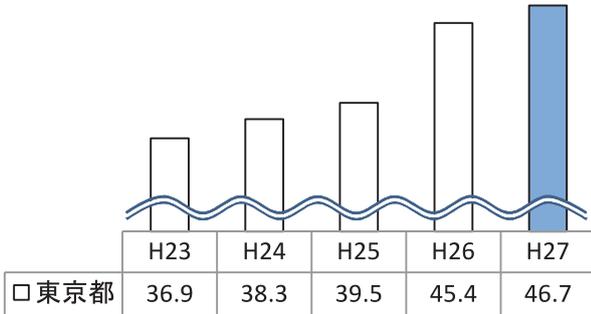
296.8 %



有形固定資産減価償却率(%)

= 減価償却累計額/有形償却資産帳簿原価×100

46.7%



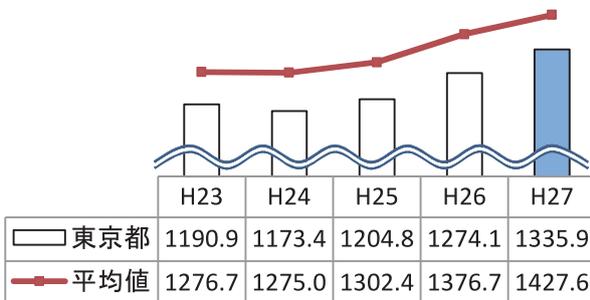
経営の効率性

- 「乗車効率」は平均値より高い水準で推移している。
- 「走行キロ当たりの収入」は平均値より高く、右肩上がり推移している。
- 「走行キロ当たりの運送原価」及び「走行キロ当たりの人件費」は平均値より低い水準で推移している。

走行キロ当たりの収入(円)

= 経常収益/年間客車走行キロ

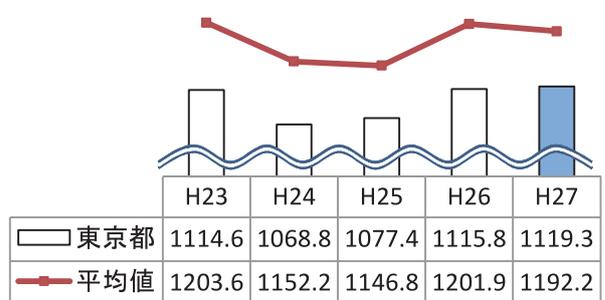
1335.9 円



走行キロ当たりの運送原価(円)

= 経常費用/年間客車走行キロ

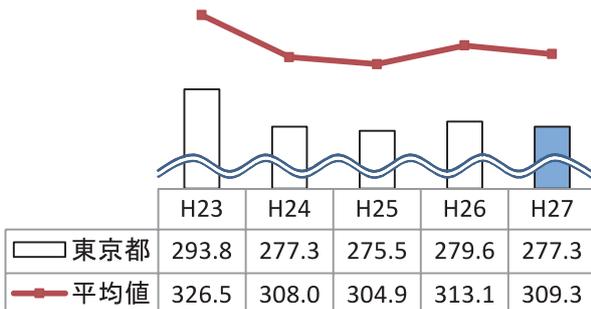
1119.3 円



走行キロ当たりの人件費(円)

= 職員給与費/年間客車走行キロ

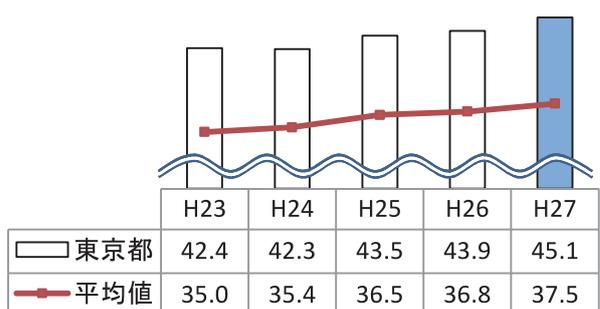
277.3 円



乗車効率(%)

= [延人キロ/(年間客車走行キロ×平均乗車定員数)]×100

45.1%



■ 地下鉄路線別収支状況(平成28年度)

路線	収入	支出	損益額	乗車料収入	乗車人員	営業係数
	千円	千円	千円	千円/日	人/日	
浅草線	32,731,113	19,920,622	12,810,492	83,968	718,855	61
新宿線	43,430,450	31,803,332	11,627,118	97,579	745,889	73
三田線	31,696,510	23,540,134	8,156,376	79,338	638,365	74
大江戸線	56,181,013	55,863,584	317,429	115,347	933,621	99
計	164,039,087	131,127,671	32,911,415	376,232	2,667,514	80

(注)

- 平成28年度決算値を基に推計している。
- 千円単位未満を端数処理しているため、合計等と一致しない場合がある。
- 収入及び支出は、全体の金額を営業キロ等で各路線に配分している。
- 乗車人員は、乗車券の発売等のデータをもとに推計している。
- 乗車人員合計は、自線内相互の乗換人員を1人として計算したものであり、4線の乗車人員の単純合計ではない。
- 営業係数は、その路線が100円の収入を得るために、どれだけか支出が必要かを示す数値

$$\text{営業係数} = \frac{\text{支出}}{\text{収入}} \times 100$$
 で算出し、営業係数100未満が黒字、100を超えると赤字
- 推計方法の見直し等により、今後、数値が改定される場合がある。

■ 地下鉄駅別乗降人員表

(平成28年度一日平均)

順位	路線名	駅名	28年度	27年度	前年比
1	新宿線	馬喰横山	111,877	110,016	1.7%
2	新宿線	九段下	106,043	102,649	3.3%
3	新宿線	新宿	102,095	100,016	2.1%
4	大江戸線	六本木	100,916	102,131	▲1.2%
5	三田線	大手町	99,972	95,406	4.8%
6	大江戸線	勝どき	99,517	98,421	1.1%
7	三田線	巢鴨	95,518	94,538	1.0%
8	浅草線	新橋	95,312	92,232	3.3%
9	新宿線	市ヶ谷	95,112	92,994	2.3%
10	浅草線	日本橋	94,923	91,997	3.2%
11	大江戸線	門前仲町	86,178	84,431	2.1%
12	三田線	日比谷	83,656	81,200	3.0%
13	大江戸線	新宿	83,571	81,592	2.4%
14	浅草線	東日本橋	80,654	78,785	2.4%
15	浅草線	東銀座	79,876	76,505	4.4%
16	大江戸線	練馬	78,525	76,875	2.1%
17	大江戸線	青山一丁目	76,116	74,879	1.7%
18	新宿線	本八幡	74,605	72,050	3.5%
19	大江戸線	月島	71,806	69,120	3.9%
20	新宿線	新宿三丁目	70,611	68,358	3.3%
21	新宿線	小川町	69,453	68,014	2.1%
22	大江戸線	大門	68,929	68,208	1.1%
23	浅草線	五反田	68,341	66,689	2.5%
24	三田線	神保町	64,436	61,997	3.9%
25	新宿線	船堀	61,509	60,140	2.3%
26	大江戸線	光が丘	61,464	60,107	2.3%
27	浅草線	浅草橋	59,150	58,593	1.0%
28	大江戸線	新宿西口	58,663	58,220	0.8%
29	浅草線	押上	55,893	55,260	1.1%
30	大江戸線	上野御徒町	55,856	55,060	1.4%
31	新宿線	瑞江	55,591	54,264	2.4%
32	新宿線	神保町	55,494	53,872	3.0%
33	浅草線	浅草	53,320	52,280	2.0%
34	大江戸線	汐留	53,194	52,610	1.1%
35	新宿線	岩本町	51,410	48,981	5.0%
36	浅草線	人形町	50,895	49,799	2.2%
37	三田線	白山	50,434	49,604	1.7%
38	大江戸線	新御徒町	50,263	48,354	3.9%
39	浅草線	三田	49,120	46,597	5.4%
40	大江戸線	都庁前	48,473	46,518	4.2%
41	浅草線	大門	47,212	45,822	3.0%
42	三田線	水道橋	46,667	45,690	2.1%
43	三田線	三田	46,666	44,790	4.2%
44	浅草線	西馬込	45,770	44,455	3.0%
45	三田線	内幸町	43,728	42,290	3.4%
46	三田線	御成門	43,255	42,730	1.2%
47	新宿線	住吉	42,578	41,244	3.2%
48	浅草線	泉岳寺	42,335	40,343	4.9%
49	新宿線	一之江	42,048	40,927	2.7%
50	大江戸線	清澄白河	41,032	39,825	3.0%
51	大江戸線	東新宿	39,820	38,055	4.6%
52	大江戸線	中野坂上	39,670	38,709	2.5%
53	新宿線	篠崎	38,654	37,589	2.8%

(単位:人、前年比%)

順位	路線名	駅名	28年度	27年度	前年比
54	大江戸線	赤羽橋	38,424	37,449	2.6%
55	大江戸線	麻布十番	37,695	36,970	2.0%
56	大江戸線	代々木	37,232	36,892	0.9%
57	新宿線	曙橋	36,790	36,498	0.8%
58	浅草線	蔵前	35,385	34,891	1.4%
59	三田線	春日	34,318	33,175	3.4%
60	三田線	板橋本町	33,853	32,723	3.5%
61	三田線	板橋区役所前	33,659	33,029	1.9%
62	大江戸線	築地市場	33,646	33,000	2.0%
63	三田線	志村三丁目	33,233	32,343	2.8%
64	大江戸線	両国	32,739	31,472	4.0%
65	大江戸線	蔵前	32,641	32,114	1.6%
66	大江戸線	飯田橋	32,562	31,779	2.5%
67	新宿線	東大島	32,251	31,706	1.7%
68	大江戸線	西新宿五丁目	32,189	31,375	2.6%
69	新宿線	大島	32,163	30,729	4.7%
70	三田線	千石	31,712	30,534	3.9%
71	大江戸線	若松河田	31,144	30,667	1.6%
72	三田線	芝公園	30,732	30,077	2.2%
73	浅草線	中延	30,632	29,979	2.2%
74	三田線	志村坂上	30,581	29,626	3.2%
75	三田線	高島平	30,075	29,373	2.4%
76	三田線	新板橋	29,564	28,697	3.0%
77	三田線	西巢鴨	28,807	28,325	1.7%
78	浅草線	宝町	28,002	26,141	7.1%
79	新宿線	西大島	27,877	27,192	2.5%
80	大江戸線	東中野	27,772	27,533	0.9%
81	大江戸線	新江古田	27,045	25,572	5.8%
82	三田線	白金高輪	26,433	25,717	2.8%
83	浅草線	馬込	26,358	25,630	2.8%
84	大江戸線	落合南長崎	26,031	25,251	3.1%
85	新宿線	菊川	24,684	23,734	4.0%
86	大江戸線	中井	24,608	24,151	1.9%
87	大江戸線	春日	24,565	24,192	1.5%
88	三田線	西台	24,412	24,073	1.4%
89	三田線	本蓮沼	23,569	22,659	4.0%
90	新宿線	浜町	21,938	21,395	2.5%
91	新宿線	森下	21,659	20,711	4.6%
92	大江戸線	練馬春日町	21,535	20,892	3.1%
93	浅草線	戸越	21,272	20,799	2.3%
94	三田線	目黒	20,942	20,175	3.8%
95	大江戸線	本郷三丁目	20,914	20,245	3.3%
96	大江戸線	牛込柳町	20,144	19,863	1.4%
97	三田線	蓮根	19,281	18,513	4.1%
98	浅草線	本所吾妻橋	18,737	18,431	1.7%
99	浅草線	高輪台	14,921	14,814	0.7%
100	大江戸線	森下	14,752	13,930	5.9%
101	大江戸線	牛込神楽坂	14,672	14,577	0.7%
102	三田線	西高島平	12,732	12,498	1.9%
103	大江戸線	豊島園	11,600	11,286	2.8%
104	三田線	白金台	10,668	10,415	2.4%
105	三田線	新高島平	9,859	9,738	1.2%
106	大江戸線	国立競技場	9,285	8,897	4.4%

(注)

1 泉岳寺、押上、目黒の各駅は相互直通運転各社からの乗降人員を除く。

2 三田、大門、春日、神保町、森下の各駅は、自線内相互において改札を受けることなく乗り継ぎを行った乗降人員を除く。

3 新宿駅は、相互直通運転社及び改札を受けることなく乗り継ぎを行った乗降人員を除く。

【参考】改札を受けることなく乗り継ぎを行った乗降人員

(単位:人、前年比%)

駅名	28年度	27年度	前年比
三田	57,159	55,342	3.3%
大門	58,988	56,568	4.3%
春日	33,261	32,435	2.5%

駅名	28年度	27年度	前年比
神保町	76,061	74,291	2.4%
森下	53,584	52,295	2.5%
新宿	22,414	22,180	1.1%

自動車運送事業 / 都営バス

年間輸送人員

在籍車両数

2.2億人 1,469両

都営バスは、主に東京都のJR山手線と荒川に囲まれた地域の内側及び江戸川区の一部並びに多摩地域の一部で運行しており、平成28年度は、一日平均約60万人のお客様にご利用いただきました。

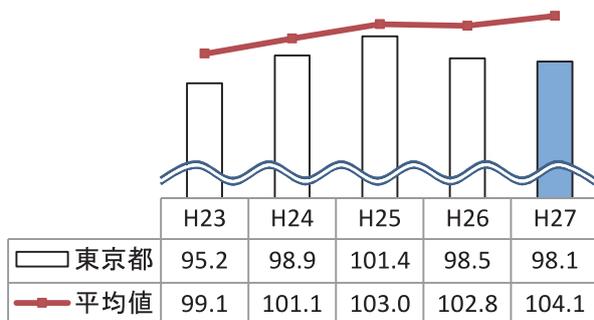
■ 経営の健全性

- 「経常収支比率」、「営業収支比率」は100%を下回っている。
- 「流動比率」は高い水準を確保している。
- 「企業債残高対料金収入比率」は減少傾向にある。

経常収支比率(%)

= 経常収益/経常費用 × 100

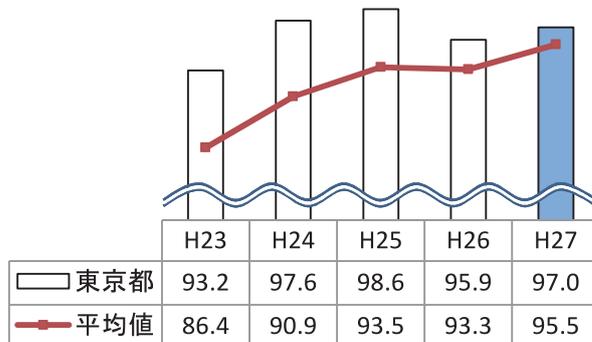
98.1%



営業収支比率(%)

= 営業収益/営業費用 × 100

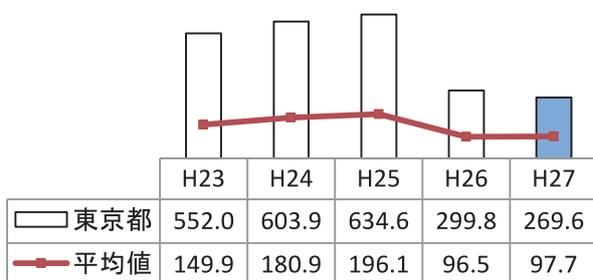
97.0%



流動比率(%)

= 流動資産/流動負債×100

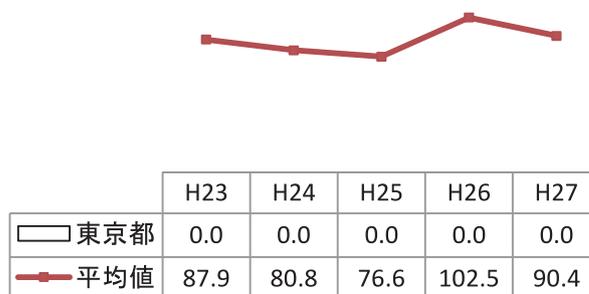
269.6 %



累積欠損金比率(%)

= 当年度未処理欠損金/営業収益×100

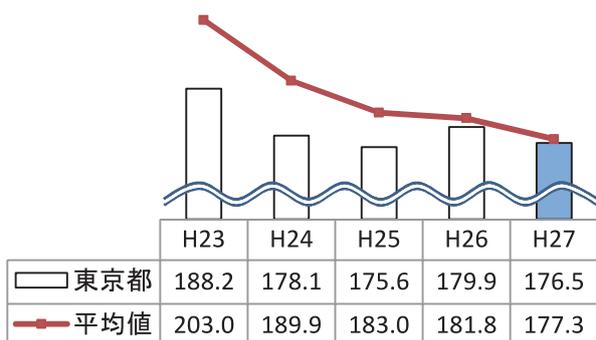
0 %



利用者1回当たり運行経費(円)

= 経常費用/年間輸送人員

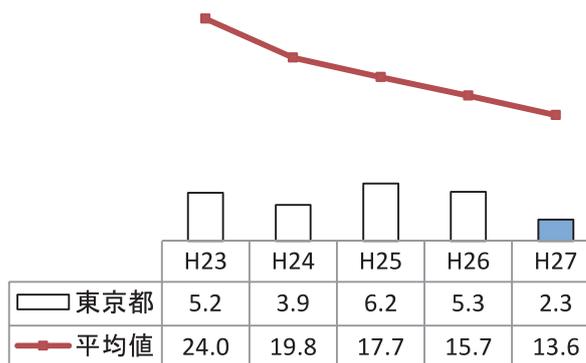
176.5 円



利用者1回当たり他会計負担額(円)

= (他会計補助金+他会計負担金)/年間輸送人員

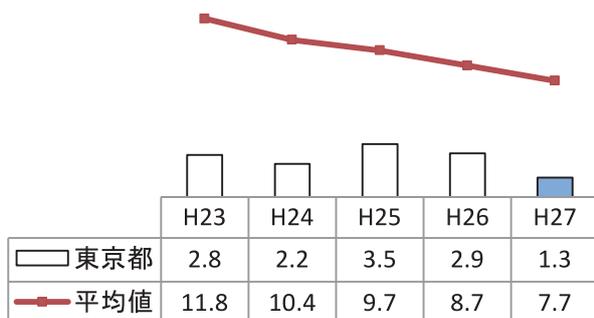
2.3 円



他会計負担比率(%)

= (他会計補助金+他会計負担金)/経常費用×100

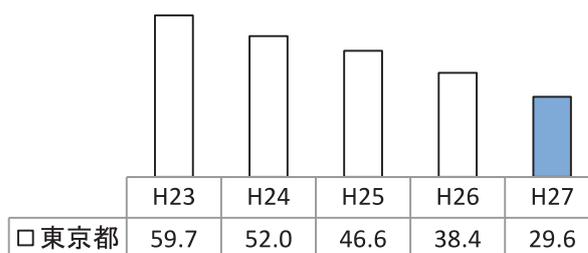
1.3 %



企業債残高対料金収入比率(%)

= 企業債年度末残高/料金収入×100

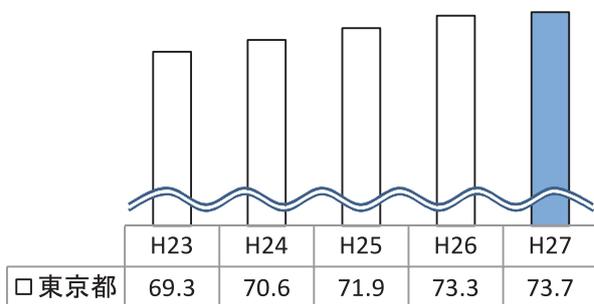
29.6 %



有形固定資産減価償却率(%)

= 減価償却累計額/有形償却資産帳簿原価×100

73.7%



■ 経営の効率性

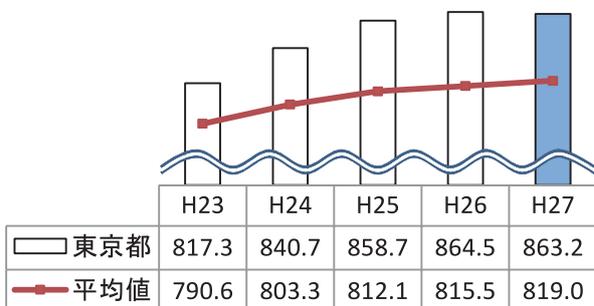
(注) 自動車運送事業の「経営の効率性」における平均値は、東京都が所属する京浜ブロックに属する公営企業(東京都、横浜市、川崎市)が対象。

- 「走行キロ当たりの収入」、「走行キロ当たりの運送原価」、「走行キロ当たりの人件費」は平均値を上回っている。
- 「乗車効率」は平均値を上回るとともに、上昇傾向である。

走行キロ当たりの収入(円)

= 経常収益/年間実車走行キロ

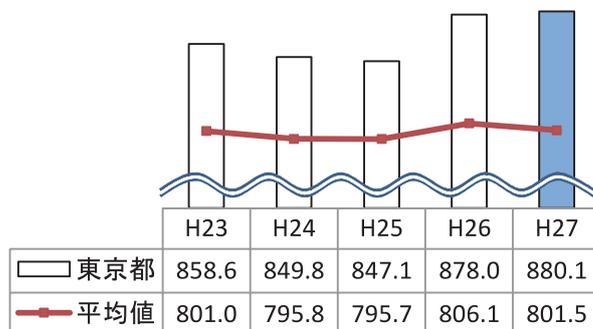
863.2 円



走行キロ当たりの運送原価(円)

= 経常費用/年間実車走行キロ

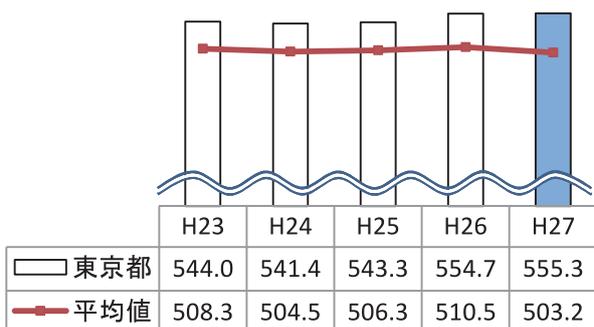
880.1 円



走行キロ当たりの人件費(円)

= 職員給与費/年間実車走行キロ

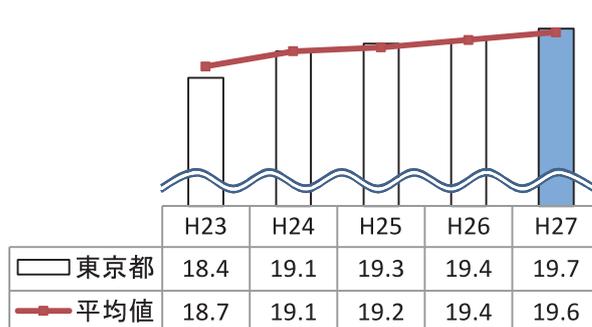
555.3 円



乗車効率(%)

= {延人キロ/(年間実車走行キロ×平均乗車定員数)}×100

19.7%



バス系統別収支状況(平成28年度)

系統番号	区間	収入	支出	損益額	乗車料収入	乗車人員	営業係数
		千円	千円	千円	千円/日	人/日	
1東22	錦糸町駅前～東京駅丸の内北口	1,022,369	636,131	386,237	2,630	16,989	62
2都07	錦糸町駅前～門前仲町	1,162,305	911,889	250,416	2,940	19,992	78
3品99	品川駅港南口～(品川埠頭循環)～品川駅港南口	592,522	355,906	236,617	1,528	9,309	60
4新小21	西葛西駅前～新小岩駅前	787,604	592,815	194,790	2,001	13,339	75
5北47	足立清掃工場前～北千住駅前	552,705	423,316	129,389	1,404	8,744	77
6錦25	葛西駅前～錦糸町駅前	849,979	733,916	116,063	2,138	14,661	86
7東16	東京駅八重洲口～東京ビッグサイト	648,987	534,745	114,242	1,631	9,656	82
8田87	渋谷駅前～田町駅前	667,472	553,359	114,113	1,651	10,065	83
9都01	渋谷駅前～新橋駅前	1,083,084	973,939	109,146	2,629	15,186	90
10都02	大塚駅前～錦糸町駅前	1,190,115	1,084,627	105,487	2,952	18,985	91
11王57	赤羽駅東口～豊島五丁目団地	552,035	460,991	91,044	1,390	8,860	84
12上58	早稲田～上野松坂屋前	580,482	499,476	81,005	1,435	9,315	86
13白61	練馬車庫前～新宿駅西口	885,039	804,623	80,416	2,200	13,479	91
14草63	池袋駅東口～浅草寿町(往路)、雷門一丁目(復路)	723,974	666,150	57,825	1,799	11,505	92
15上69	小滝橋車庫前～(上野公園循環)～小滝橋車庫前	398,314	340,929	57,385	995	6,259	86
16都06	渋谷駅前～新橋駅前	733,630	683,837	49,793	1,781	10,839	93
17新小22	葛西駅前～新小岩駅前	492,444	450,330	42,113	1,232	8,075	91
18学06	恵比寿駅前～日赤医療センター前	166,952	126,352	40,599	423	3,081	76
19品93	大井競馬場前～目黒駅前	608,696	568,720	39,976	1,517	9,323	93
20飯64	小滝橋車庫前～(九段下循環)～小滝橋車庫前	298,704	263,667	35,037	746	4,622	88
21学03	渋谷駅前～日赤医療センター前	406,883	374,406	32,477	1,013	7,500	92
22品96	品川駅港南口～(天王洲アイル循環)～品川駅港南口	251,768	220,102	31,667	630	3,664	87
23錦28	東大島駅前～錦糸町駅前	270,710	240,185	30,526	678	4,567	89
24池65	練馬車庫前～池袋駅東口	316,864	289,340	27,524	790	4,942	91
25品91	品川駅港南口～(八潮パークタウン循環)～品川駅港南口	334,535	309,458	25,077	835	5,008	93
26都08	日暮里駅前～錦糸町駅前	627,252	602,449	24,803	1,556	10,195	96
27葛西21	葛西駅前～葛西臨海公園駅前	290,026	267,089	22,936	724	4,698	92
28都05	晴海埠頭～東京駅丸の内南口	736,159	714,448	21,711	1,813	10,647	97
29王40	池袋駅東口～西新井駅前	1,256,158	1,236,090	20,068	3,118	19,840	98
30池86	池袋駅東口～(渋谷駅東口循環)～池袋駅東口	498,005	478,110	19,894	1,209	7,852	96
31井92	大井町駅東口～(八潮パークタウン循環)～大井町駅東口	265,585	246,379	19,207	662	4,155	93
32都04	豊海水産埠頭～東京駅丸の内南口	422,619	403,983	18,636	1,052	6,308	96
33業10	新橋～とうきょうスカイツリー駅前	868,505	856,227	12,278	2,150	13,821	99
34端44	北千住駅前～駒込病院前	366,337	357,224	9,113	908	5,601	98
35田92	品川駅港南口～田町駅東口	93,102	84,877	8,225	232	1,333	91
36直行01	大井町駅東口～(八潮パークタウン循環)～大井町駅東口	21,349	14,000	7,349	83	505	66
37西葛27	西葛西駅前～臨海町二丁目団地前	244,166	237,317	6,849	606	3,934	97
38里22	日暮里駅前～亀戸駅前	439,085	435,962	3,123	1,086	7,179	99
39錦18	錦糸町駅前～新木場駅前	120,238	117,907	2,331	444	2,846	98
40東15	深川車庫前～東京駅八重洲口	248,474	246,706	1,769	612	3,728	99
41王45	王子駅前～北千住駅前	104,606	103,325	1,281	260	1,618	99
42東42	南千住車庫前～東京駅八重洲口	465,069	464,320	750	1,149	7,344	100
43王55	王子駅前～新田一丁目	367,433	367,587	▲155	910	5,701	100
44門33	亀戸駅前～豊海水産埠頭	442,348	443,063	▲715	1,097	7,387	100
45学07	東大構内～御茶ノ水駅前	100,878	103,288	▲2,411	249	1,991	102
46急行05	錦糸町駅前～日本科学未来館	69,773	72,337	▲2,564	525	3,334	104
47FLO1	葛西駅前～錦糸町駅前	19,653	22,828	▲3,175	147	1,017	116
48学02	高田馬場駅前～早大正門	301,762	305,489	▲3,727	743	4,995	101
49宿91	新代田駅前～新宿駅西口	220,475	225,165	▲4,690	534	3,324	102
50ALO1	東大島駅前～(小松川二丁目循環)～東大島駅前	18,655	25,216	▲6,560	67	607	135
51C+H01	新宿駅西口～(都庁第一本庁舎循環)～新宿駅西口	32,903	39,976	▲7,073	81	487	121
52洪66	阿佐ヶ谷駅前～渋谷駅前	206,760	215,165	▲8,405	502	3,035	104
53飯62	小滝橋車庫前～都営飯田橋駅前	27,986	37,152	▲9,166	67	433	133
54上46	南千住駅東口～上野松坂屋前	365,260	374,533	▲9,273	900	5,944	103
55葛西24	船堀駅前～なぎさニュータウン	225,434	234,954	▲9,519	555	3,681	104
56西葛20	西葛西駅前～なぎさニュータウン	322,965	332,776	▲9,812	798	5,240	103
57亀21	東陽町駅前～亀戸駅前	294,990	306,244	▲11,254	728	4,920	104
58茶51	駒込駅南口～秋葉原駅前	162,599	174,390	▲11,791	398	2,433	107
59亀24	葛西橋～亀戸駅前	279,211	292,270	▲13,059	689	4,686	105
60臨海22	臨海車庫～船堀駅前	31,108	44,415	▲13,307	74	494	143
61反94	五反田駅～赤羽橋駅前	12,684	26,075	▲13,391	28	162	206
62平28	東大島駅前～(平井駅前循環)～東大島駅前	82,498	96,403	▲13,904	201	1,306	117
63錦22	臨海車庫～錦糸町駅前	72,497	86,535	▲14,039	176	1,168	119
64早77	早稲田～新宿駅西口	188,354	202,960	▲14,605	452	2,868	108
65亀26	今井～亀戸駅前	183,840	198,681	▲14,841	451	3,044	108

系統番号	区間	収入	支出	損益額	乗車料収入	乗車人員	営業係数	
		千円	千円	千円	千円/日	人/日		
66	錦40	南千住駅東口～錦糸町駅前	39,654	54,573	▲ 14,919	94	615	138
67	豊洲01	豊洲駅前～(豊洲一丁目・豊洲駅前・キャナルコート循環)～豊洲駅前	58,919	74,307	▲ 15,388	210	1,252	126
68	陽20	東陽町駅前～東大島駅前	35,768	51,675	▲ 15,907	85	567	144
69	田99	品川駅港南口～田町駅東口	10,989	27,407	▲ 16,418	23	138	249
70	反96	五反田駅～六本木ヒルズ	227,758	244,715	▲ 16,957	559	3,357	107
71	亀29	なぎさニュータウン～亀戸駅前	390,550	407,545	▲ 16,995	963	6,629	104
72	新小20	東新小岩四丁目～之江駅前	30,992	48,458	▲ 17,466	72	453	156
73	学01	東大橋内～上野駅前	69,249	88,447	▲ 19,198	166	1,130	128
74	井96	大井町駅東口～(天王洲アイル循環)～大井町駅東口	50,178	69,403	▲ 19,225	119	712	138
75	井98	大井町駅東口～大井水産物埠頭前	53,039	74,755	▲ 21,716	155	898	141
76	西葛26	船堀駅前～葛西臨海公園駅前	55,055	78,510	▲ 23,456	130	853	143
77	船28	船堀駅前～篠崎駅前	27,987	51,793	▲ 23,806	62	417	185
78	亀23	亀戸駅前～(江東高齢者医療センター循環)～亀戸駅前	112,036	135,871	▲ 23,835	271	1,809	121
79	臨海28	一之江橋西詰～葛西臨海公園駅前	546,213	572,720	▲ 26,507	1,348	8,676	105
80	品97	品川駅高輪口～新宿駅西口	379,552	406,159	▲ 26,607	928	5,786	107
81	新小29	葛西駅前～東新小岩四丁目	322,028	350,261	▲ 28,233	788	5,123	109
82	RH01	渋谷駅前～六本木ヒルズ	71,156	100,713	▲ 29,557	152	842	142
83	宿74	新宿駅西口～東京女子医大前	132,885	162,782	▲ 29,898	303	1,903	122
84	東20	東京駅丸の内北口～錦糸町駅前	112,139	142,215	▲ 30,075	268	1,703	127
85	梅76	裏宿町～上成木	105,720	136,435	▲ 30,715	250	1,916	129
86	門19	深川車庫前～門前仲町	177,522	208,553	▲ 31,031	432	2,737	117
87	上60	池袋駅東口～上野公園	118,376	150,111	▲ 31,735	283	1,742	127
88	学05	目白駅前～日本女子大前	68,926	101,809	▲ 32,883	215	1,482	148
89	波01	東京テレポート駅前～中央防波堤	82,955	116,555	▲ 33,600	197	1,267	141
90	秋26	葛西駅前～秋葉原駅前	315,878	349,834	▲ 33,956	769	5,109	111
91	浜95	品川車庫前～東京タワー	60,394	95,020	▲ 34,627	140	846	157
92	錦11	錦糸町駅前～築地駅前	108,749	143,846	▲ 35,097	259	1,625	132
93	海01	門前仲町～東京テレポート駅前	669,880	705,142	▲ 35,262	1,642	10,761	105
94	錦27	小岩駅前～両国駅前	280,403	317,040	▲ 36,637	685	4,667	113
95	橋63	小滝橋車庫前～新橋駅前	216,405	253,077	▲ 36,672	522	3,242	117
96	草39	金町駅前～上野松坂屋前	271,037	311,217	▲ 40,180	660	4,317	115
97	梅74	裏宿町～(成木循環)～裏宿町	43,271	85,313	▲ 42,042	95	689	197
98	高71	高田馬場駅前～九段下	131,831	175,141	▲ 43,310	309	1,940	133
99	錦37	青戸車庫前～錦糸町駅前	249,641	292,979	▲ 43,338	607	4,031	117
100	王41	王子駅前～新田一丁目	196,711	240,261	▲ 43,550	475	2,988	122
101	梅77	裏宿町～河辺駅北口	56,894	100,543	▲ 43,649	128	904	177
102	草41	足立梅田町～浅草寿町	302,033	346,305	▲ 44,271	735	4,812	115
103	王78	新宿駅西口～王子駅前	340,508	386,206	▲ 45,697	819	5,187	113
104	葛西22	葛西駅前～一之江駅前	57,623	103,370	▲ 45,747	131	864	179
105	草43	足立区役所～浅草雷門	116,881	163,598	▲ 46,717	277	1,835	140
106	黒77	目黒駅前～千駄ヶ谷駅前	166,692	213,991	▲ 47,299	399	2,477	128
107	平23	葛西駅前～平井駅前	126,075	175,333	▲ 49,259	298	2,003	139
108	草24	東大島駅前～浅草寿町	121,296	170,995	▲ 49,698	286	1,927	141
109	門21	東大島駅前～門前仲町	120,539	173,126	▲ 52,586	284	1,908	144
110	両28	葛西橋～両国駅前	173,151	226,180	▲ 53,029	414	2,789	131
111	市01	新橋駅前～(築地中央市場循環)～新橋駅前	54,201	107,566	▲ 53,365	147	900	198
112	品98	品川駅港南口～大田市場	285,461	342,256	▲ 56,796	692	3,997	120
113	都03	晴海埠頭～四谷駅	99,852	157,355	▲ 57,503	232	1,366	158
114	宿75	新宿駅西口～三宅坂	108,800	167,031	▲ 58,231	239	1,483	154
115	S-1	東京駅丸の内北口～錦糸町駅前	80,202	140,555	▲ 60,353	183	1,275	175
116	東43	荒川土手操車所前～東京駅丸の内北口	479,370	541,760	▲ 62,389	1,171	7,284	113
117	洪88	渋谷駅前～新橋駅前	131,782	194,737	▲ 62,954	288	1,715	148
118	草64	池袋駅東口～浅草雷門南	389,227	452,530	▲ 63,303	942	6,091	116
119	錦13	錦糸町駅前～晴海埠頭	601,733	665,479	▲ 63,746	1,456	9,520	111
120	上23	平井駅前～上野松坂屋前	297,801	364,632	▲ 66,831	720	4,735	122
121	橋86	目黒駅前～新橋駅前	129,344	198,354	▲ 69,009	300	1,874	153
122	木11	木場駅前～(東京レトロ・新木場三丁目循環)～東陽町駅前	358,195	430,189	▲ 71,994	858	5,194	120
123	上26	亀戸駅前～上野公園	113,262	185,926	▲ 72,664	261	1,731	164
124	早81	早大正門～(渋谷駅東口循環)～早大正門	107,524	183,410	▲ 75,885	230	1,437	171
125	王49	千住車庫前～王子駅前	326,781	418,034	▲ 91,253	787	5,083	128
126	里48	日暮里駅前～見沼代親水公園駅前	77,808	199,792	▲ 121,984	160	1,011	257
127	梅70	青梅車庫前～花小金井駅北口	196,342	402,256	▲ 205,914	445	2,443	205

(注)

- 1 運行受託路線は除く。
- 2 平成28年度決算値を基に推計し、千円単位未満を端数処理している。
- 3 収入は、全体の金額を乗車人員等で各系統に配分している。支出は、全体の金額を年間の走行距離等で各系統に配分している。
- 4 乗車人員は、ICカードの実績等のデータをもとに推計している。
- 5 営業係数は、その系統が100円の収入を得るために、どれだけかの支出が必要かを示す数値
支出÷収入×100で算出し、営業係数100未満が黒字、100を超えると赤字

軌道事業 / 東京さくらトラム(都電荒川線)

年間輸送人員

1,667 万人

在籍車両数

36 両

東京さくらトラム(都電荒川線)は、三ノ輪橋～早稲田間12.2kmを運行しており、平成28年度は、一日平均約4万6,000人のお客様にご利用いただきました。

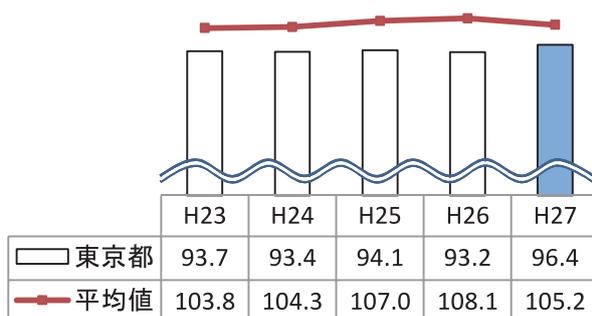
■ 経営の健全性

- 「営業収支比率」は平均値より高く、「流動比率」は安定して100%を上回っているが、「経常収支比率」、「営業収支比率」ともに100%を下回っている。
- 「利用者1回当たりの他会計負担額」及び「他会計負担比率」は低い水準で推移している。

経常収支比率(%)

= 経常収益/経常費用×100

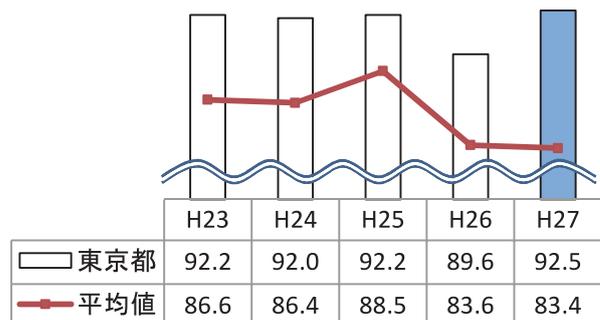
96.4 %



営業収支比率(%)

= 営業収益/営業費用×100

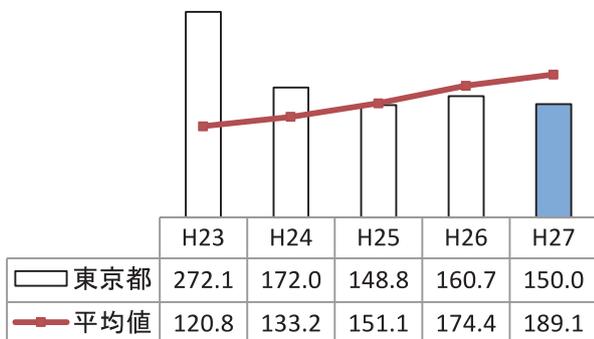
92.5 %



流動比率(%)

= 流動資産/流動負債×100

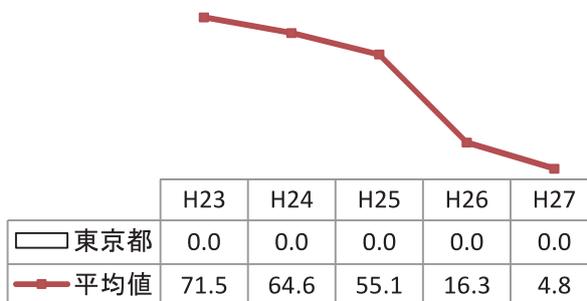
150.0%



累積欠損金比率(%)

= 当年度未処理欠損金/営業収益×100

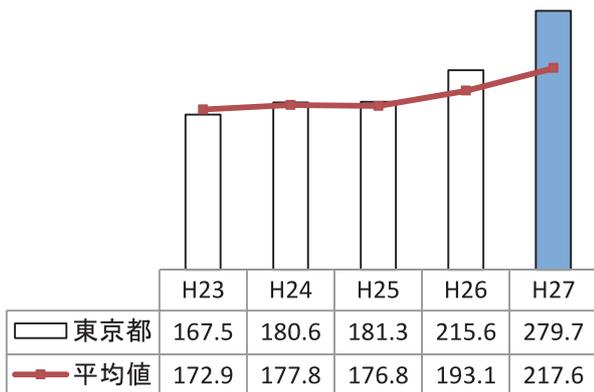
0%



利用者1回当たり運行経費(円)

= 経常費用/年間輸送人員

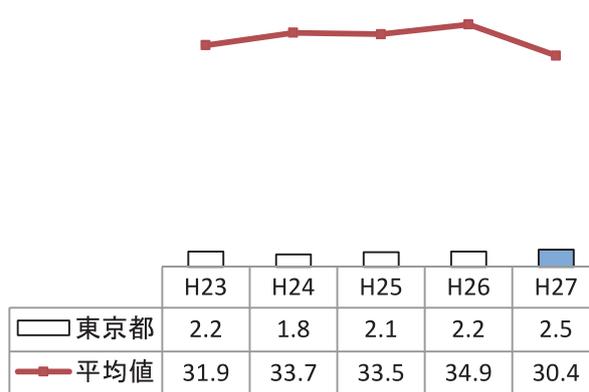
279.7円



利用者1回当たり他会計負担額(円)

= (他会計補助金+他会計負担金)/年間輸送人員

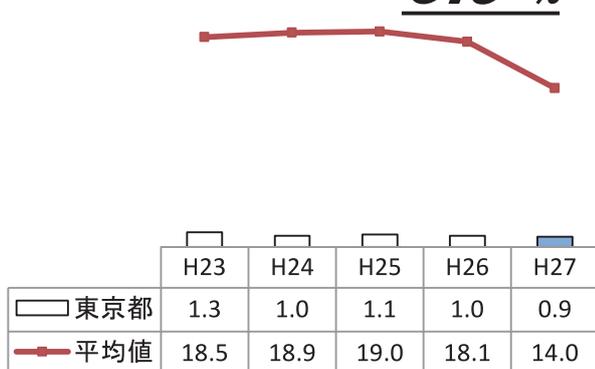
2.5円



他会計負担比率(%)

= (他会計補助金+他会計負担金)/経常費用×100

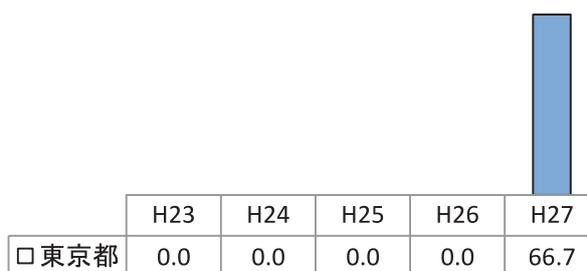
0.9%



企業債残高対料金収入比率(%)

= 企業債年度末残高/料金収入×100

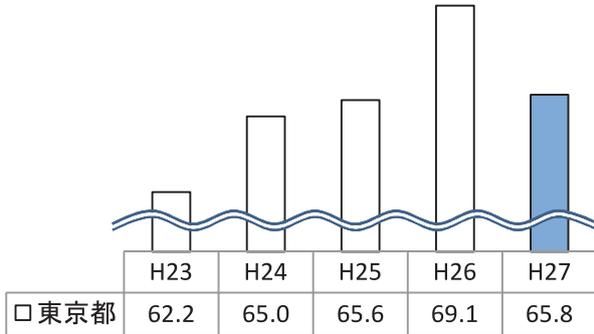
66.7%



有形固定資産減価償却率(%)

= 減価償却累計額/有形償却資産帳簿原価×100

65.8 %



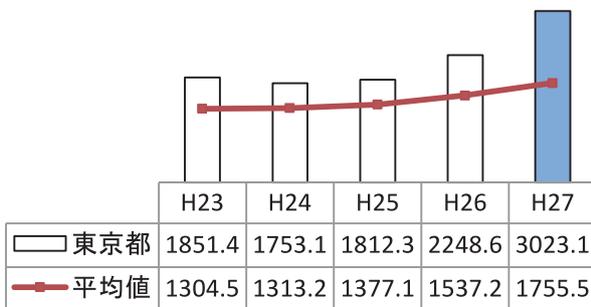
■ 経営の効率性

- 「走行キロ当たりの収入」及び「乗車効率」は平均値より高い水準で推移している。
- 「走行キロ当たりの運送原価」は平均値より高い水準で推移している。

走行キロ当たりの収入(円)

= 経常収益/年間客車走行キロ

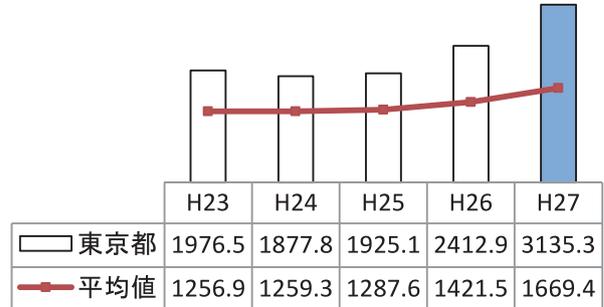
3023.1 円



走行キロ当たりの運送原価(円)

= 経常費用/年間客車走行キロ

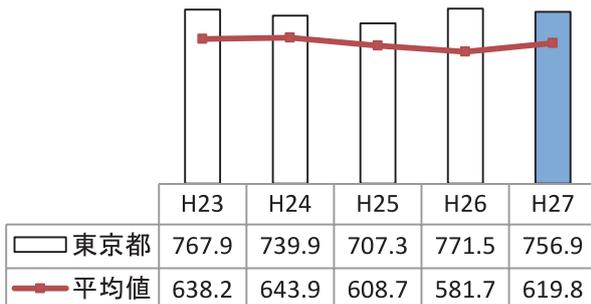
3135.3 円



走行キロ当たりの人件費(円)

= 職員給与費/年間客車走行キロ

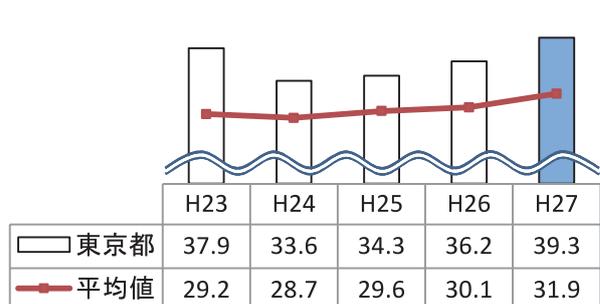
756.9 円



乗車効率(%)

= {延人キロ/(年間客車走行キロ×平均乗車定員数)}×100

39.3 %



新交通事業 / 日暮里・舎人ライナー

年間輸送人員

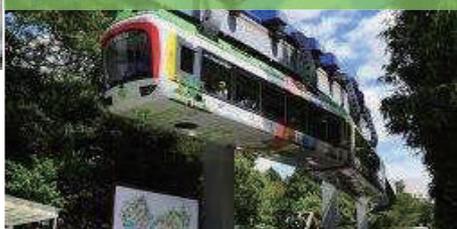
2,921 万人

在籍車両数

85 両

日暮里・舎人ライナーは、日暮里～見沼代親水公園間9.7kmを運行しており、平成28年度は、一日平均約8万人のお客様にご利用いただきました。

懸垂電車事業 / 上野動物園モノレール



上野動物園モノレールは、上野動物園内で0.3kmを運行しており、平成28年度は、営業日一日平均約3,300人のお客様にご利用いただきました。

（注）総務省の公表数値を使用しているため、懸垂電車事業の数値は、新交通事業の指標に含む。

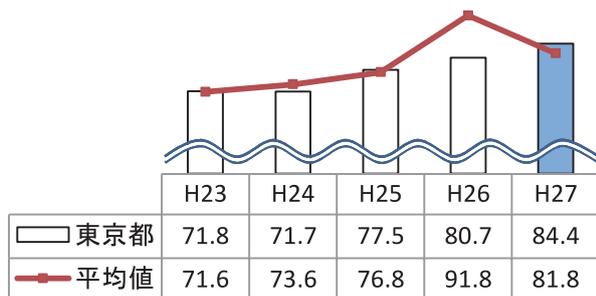
■ 経営の健全性

- 「経常収支比率」、「営業収支比率」、「流動比率」は年々上昇している。
- 「利用者1回当たり他会計負担額」及び「他会計負担比率」は0に近い水準で推移している。

経常収支比率(%)

= 経常収益/経常費用×100

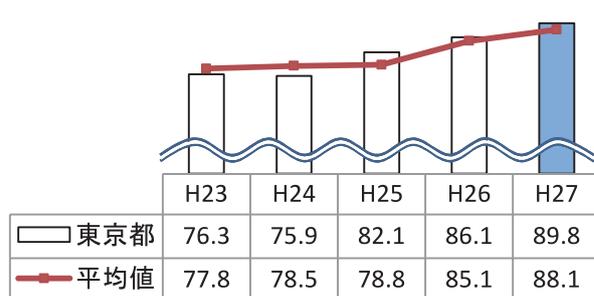
84.4 %



営業収支比率(%)

= 営業収益/営業費用×100

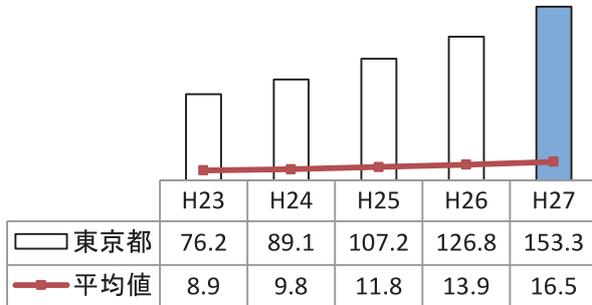
89.8 %



流動比率(%)

= 流動資産/流動負債 × 100

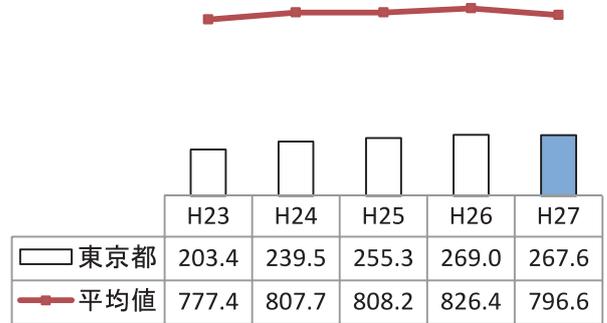
153.3 %



累積欠損金比率(%)

= 当年度未処理欠損金/営業収益 × 100

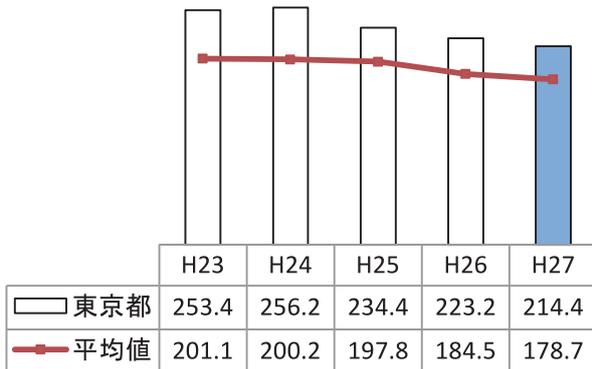
267.6 %



利用者1回当たり運行経費(円)

= 経常費用/年間輸送人員

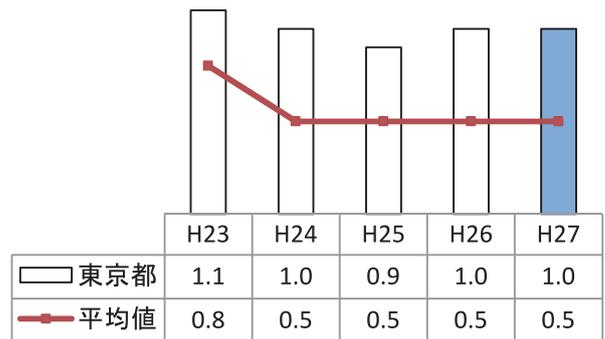
214.4 円



利用者1回当たり他会計負担額(円)

= (他会計補助金+他会計負担金)/年間輸送人員

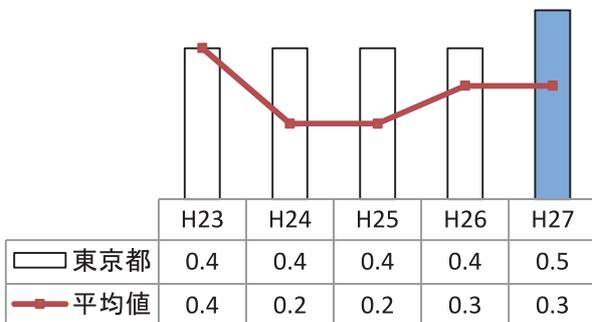
1.0 円



他会計負担比率(%)

= (他会計補助金+他会計負担金)/経常費用 × 100

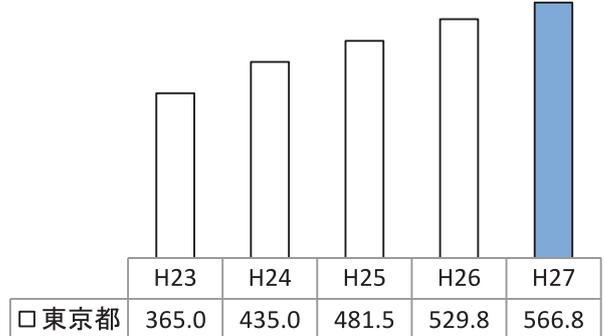
0.5 %



企業債残高対料金収入比率(%)

= 企業債年度末残高/料金収入 × 100

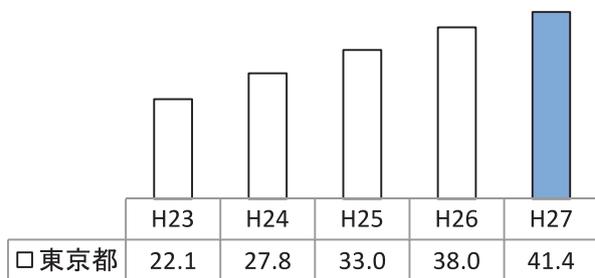
566.8 %



有形固定資産減価償却率(%)

= 減価償却累計額/有形償却資産帳簿原価×100

41.4%



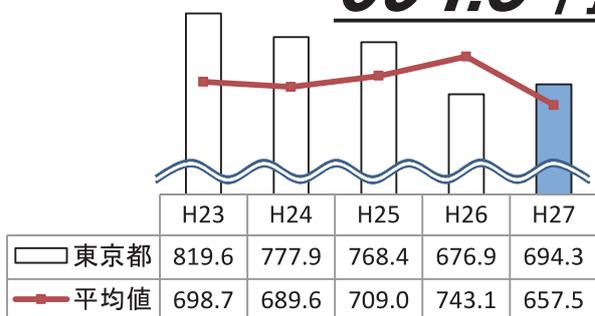
経営の効率性

- 「走行キロ当たりの収入」及び「乗車効率」は平成26年度を上回った。
- 「走行キロ当たりの運送原価」は平均値より高いが、「走行キロ当たりの人件費」は平均値より低い水準で推移している。

走行キロ当たりの収入(円)

= 経常収益/年間客車走行キロ

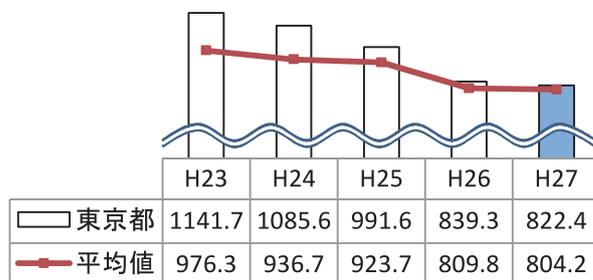
694.3 円



走行キロ当たりの運送原価(円)

= 経常費用/年間客車走行キロ

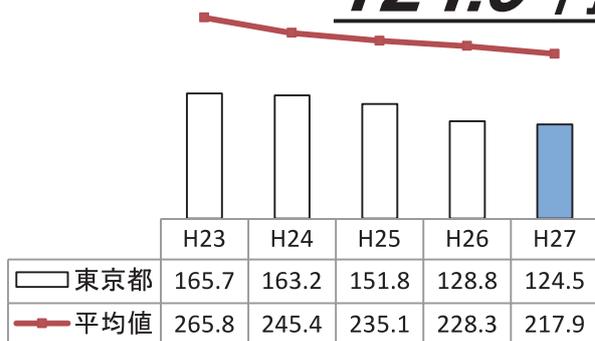
822.4 円



走行キロ当たりの人件費(円)

= 職員給与費/年間客車走行キロ

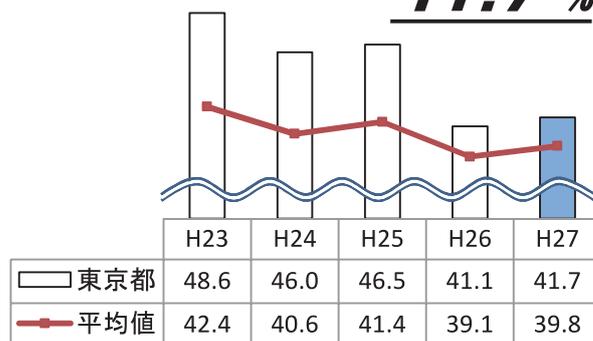
124.5 円



乗車効率(%)

= {延人キロ/(年間客車走行キロ×平均乗車定員数)}×100

41.7%



■ 日暮里・舎人ライナー駅別乗降人員

(平成28年度一日平均)

(単位:人、前年比:%)

駅名	28年度	27年度	前年比
日暮里	48,091	45,496	5.7
西日暮里	26,951	25,474	5.8
見沼代親水公園	12,301	11,638	5.7
西新井大師西	10,675	10,260	4.0
江北	9,512	9,016	5.5
谷在家	9,169	8,636	6.2
熊野前	8,934	8,467	5.5
扇大橋	8,644	8,033	7.6
舎人	7,370	7,006	5.2
高野	5,591	5,372	4.1
赤土小学校前	4,739	4,548	4.2
舎人公園	4,270	4,140	3.1
足立小台	3,794	3,449	10.0

電気事業 / 発電

年間発電電力量

一般家庭 **35,000** 世帯分の使用量に相当

電気事業は明治44年に始まり、現在、多摩川第一発電所、多摩川第三発電所、白丸発電所の3か所の水力発電所を運転しており、平成28年度は、約10万MWhの電力を販売しました。

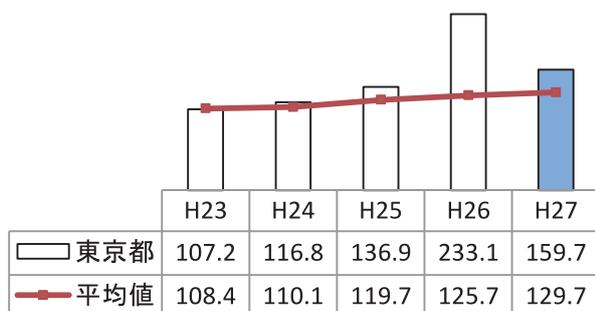
■ 経営の状況

- 「経常収支比率」、「営業収支比率」、「流動比率」は100%を上回っている。
- ダムの放流量の増減や白丸調整池の放水点検等により発電量が左右されることから、「供給原価」は年度ごとの変動が激しい。

経常収支比率 (%)

= 経常収益 / 経常費用 × 100

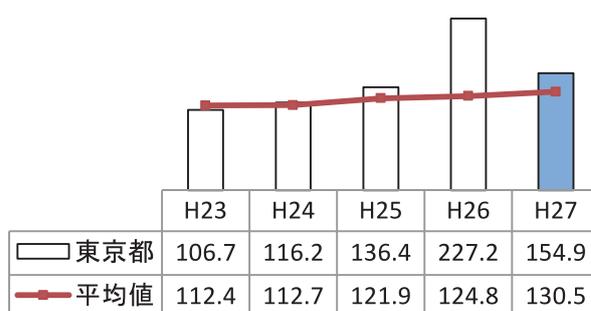
159.7 %



営業収支比率 (%)

= 営業収益 / 営業費用 × 100

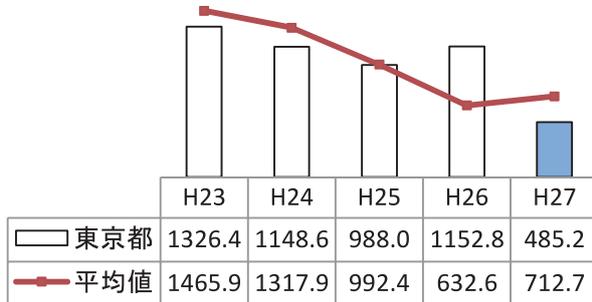
154.9 %



流動比率(%)

= 流動資産/流動負債×100

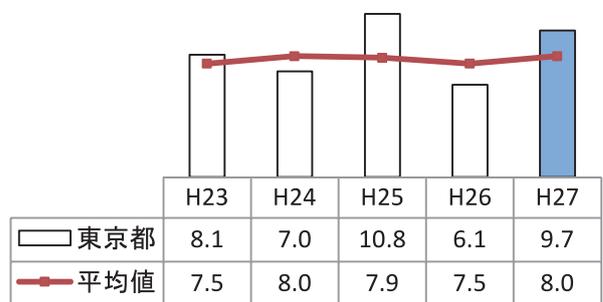
485.2 %



供給原価(円)

= (経常費用-長期前受金戻入)/(年間発電電力量-自家用発電電力量)

9.7 円



■ 経営のリスク

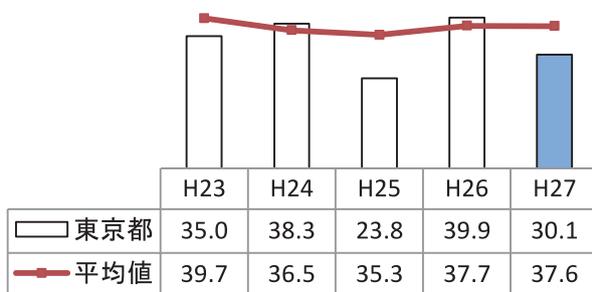
- ダムの放流量の増減等により発電量が左右されることから、「設備利用率」は年度ごとの上下が大きい。
- 「修繕費比率」は平成25年度以降、平均値よりも低い水準で推移している。

設備利用率(%)

= {年間発電電力量/(最大出力×24h×365日)}×100

(注)H23とH27の数値は366日で算定

30.1 %

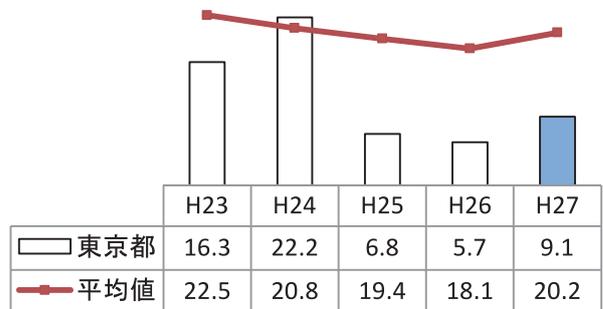


修繕費比率(%)

= {修繕費/(営業費用-職員給与)}×100

(注)総務省公表の算出式に合わせて経営レポート2017から算出式を変更
経営レポート2016の算式:{修繕費/(総費用-職員給与)}×100

9.1 %



企業債残高対料金収入比率(%)

= 企業債年度末残高/料金収入×100

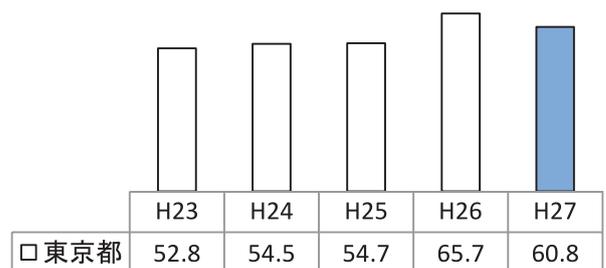
0 %

	H23	H24	H25	H26	H27
□ 東京都	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

有形固定資産減価償却率(%)

= 減価償却累計額/有形償却資産帳簿原価×100

60.8 %



経営計画2016の進捗状況（平成28年度時点）

交通局では、東京2020大会後も見据え、平成28年度から平成33年度までの6か年を計画期間とする「東京都交通局経営計画2016」を平成28年2月に策定しました。

東京の都市活動や都民生活を支える公共交通機関として、安全・安心の確保を最優先に、質の高いサービスを提供するとともに、まちづくりや観光振興、環境負荷の低減など東京の発展に貢献するため、現在この計画に基づき様々な取組を進めています。

計画初年度である平成28年度は、契約不調等により一部の事業で進捗が遅れたものの、計画策定後の状況変化にも対応しながら、掲げた施策の達成に向け着実に取り組みました。

また、財政収支については、すべての事業において収支目標を上回ることができました。

本レポートでは、平成28年度の主な取組について進捗状況を次ページ以降にまとめました。



■ 東京都交通局経営計画2016

- ≫ 計画期間 …………… 平成28年度～平成33年度の6か年
- ≫ 計画事業費 …………… 1,574億円(平成28年度～平成30年度の3か年)
- ≫ 財政収支目標

事業	事項	28年度	29年度	30年度
高速電車事業 都営地下鉄	収支目標	累積欠損金の縮減に努める		
	経常損益	200億円程度の黒字で推移		
	実績	329億円	-	-
自動車事業 都営バス	収支目標	経常損失の改善に努める		
	経常損益	9～19億円程度の赤字で推移		
	実績	▲0.5億円	-	-
軌道事業 東京さくらトラム (都電荒川線)	収支目標	経常損失の改善に努める		
	経常損益	3～4億円程度の赤字で推移		
	実績	▲2.2億円	-	-
新交通事業 日暮里・舎人ライナー	収支目標	経常損失の改善に努める		
	経常損益	9～13億円程度の赤字で推移		
	実績	▲8.2億円	-	-
電気事業 発電	収支目標	経常利益の確保に努める		
	経常損益	3～6億円程度の黒字で推移		
	実績	7.7億円	-	-

(注) 前期3か年(平成28年度～平成30年度)は年次計画を記載
後期3か年(平成31年度～平成33年度)の年次計画は平成30年度に策定予定

■ ホームページへの掲載について

「経営計画2016」の全文と平成28年度の進捗状況については、ホームページからダウンロードしてご覧いただけます。

東京都交通局ホームページ > 交通局について > 経営情報 > 経営計画
<https://www.kotsu.metro.tokyo.jp/about/information/plan/index.html>

1. 史上最高のオリンピック・パラリンピックの実現に向けた取組

史上最高のオリンピック・パラリンピックの実現に向け、局一丸となってハード・ソフト面から取組を進めました。

東京2020大会に向けた都営地下鉄の主な取組

- ◆ 都営地下鉄駅の自動券売機を8言語対応に更新したほか、大型高精細ディスプレイを採用し、運賃表を確認することなく画面操作のみで乗車券の購入が可能な次世代自動券売機（路線表示機能付券売機）を新たに導入しました。

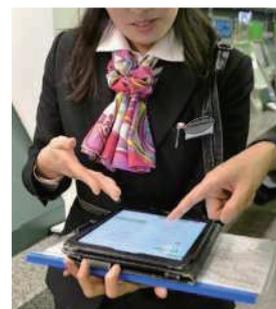
		28年度	29年度	30年度	33年度までの到達目標
誰もが利用しやすい券売機の導入					
計画	(券売機等) 順次更新 (路線表示機能付券売機) 32台	約110台更新	約250台更新	—	—
実績	(券売機等) 131台更新 (路線表示機能付券売機) 32台				



新たに導入した次世代自動券売機（路線表示機能付券売機）

- ◆ 英語が話せるコンシェルジュの配置駅を拡大するとともに、新たに中国語での案内ができるコンシェルジュを配置しました。

		28年度	29年度	30年度	33年度までの到達目標
コンシェルジュ(駅案内係)の配置拡大					
計画	4駅配置拡大	3駅設置拡大	—	10駅配置拡大(累計30駅) (東京2020大会まで)	
実績	4駅配置拡大				



コンシェルジュ(駅案内係)

- ◆ 競技会場周辺駅等でのエレベーター整備に向けて準備を進めました。

東京2020大会に向けた都営バスの主な取組

- ◆ 水素社会の実現に貢献するため、燃料電池バス2台を導入し、市販車としては日本で初めて、路線バスとして営業運行を開始しました。

		28年度	29年度	30年度	33年度までの到達目標
燃料電池バスの先導的な導入					
計画	2両導入	順次導入拡大	→	80両導入	
実績	2両導入				



平成29年3月に運行開始した燃料電池バス

2. 安全・安心の確保

安全・安心を最優先し、災害に強く、事故のない都営交通を実現するため、全職員が一丸となって取組を進めました。

■ 安全対策の強化

- ◆ 新宿線では、平成31年秋の全駅ホームドア整備に向け、ホームドアの製造や車両改修などの準備工事を進めました。
- ◆ 浅草線では、当初計画していた泉岳寺駅・大門駅に加え、三田駅・新橋駅を追加し、東京2020大会までに計4駅でホームドアを先行整備することとしました。

	28年度	29年度	30年度	33年度までの到達目標
新宿線へのホームドアの整備				
計画	準備工事	→	順次整備	全駅整備完了 (平成31年度まで)
実績	準備工事			
浅草線へのホームドアの整備				
計画	仕様検討	準備工事	→	泉岳寺駅・大門駅・ 三田駅・新橋駅*への整備 (東京2020大会まで)
実績	仕様検討			



ホームドアの設置イメージ

*当初計画からの変更

■ 災害対策等の強化

- ◆ 東日本大震災を踏まえ、施設等の安全性をより一層高めるとともに、早期の運行再開を図るため、更なる耐震対策として、高架部の橋脚及び地下部の中柱の耐震補強を実施しました。

	28年度	29年度	30年度	33年度までの到達目標
地下鉄の早期運行再開を図るための耐震対策				
計画	順次実施	→	約5割工事完了	約7割工事完了
実績	順次実施			



高架部橋脚の耐震補強工事の様子

- ◆ 関係機関と連携し、サイバーセキュリティ対策やテロ対策訓練を実施するとともに、都営地下鉄駅の監視カメラを増設するなど、テロ対策の強化に努めました。
- ◆ 車内でのいたずらや迷惑行為等、犯罪行為の未然防止のほか、テロ対策等に向けた更なるセキュリティ強化を図るため、新たに地下鉄車内に防犯カメラを設置することとし、関係機関との調整を実施しました。

	28年度	29年度	30年度	33年度までの到達目標
地下鉄における監視カメラの増設				
計画	順次増設	→		重点整備箇所への設置完了 (東京2020大会まで)
実績	順次増設			

3. 質の高いサービスの提供

お客様が求める質の高いサービスを提供し、快適で利用しやすい都営交通を実現するため、取組を進めました。

■ 輸送需要への的確な対応

- ◆ 新宿線について、車両更新に合わせて、5編成を8両編成から10両編成にし、輸送力の増強を行いました。
- ◆ 日暮里・舎人ライナーについて、朝ラッシュ時間帯における混雑緩和を図るため、座席を全てロングシート化した車両を1編成増備しました。(運用開始は平成29年5月)

		28年度	29年度	30年度	33年度までの到達目標
地下鉄の輸送力の増強					
計画	(大江戸線増備)	—	—	3編成	—
	(新宿線10両編成化) 5編成	—	5編成	—	—
実績	(大江戸線増備)	—	—	—	—
	(新宿線10両編成化) 5編成	—	—	—	—
日暮里・舎人ライナーの車両増備					
計画	1編成増備	—	—	—	—
実績	1編成増備	—	—	—	—



新宿線 10-300形3次車外観

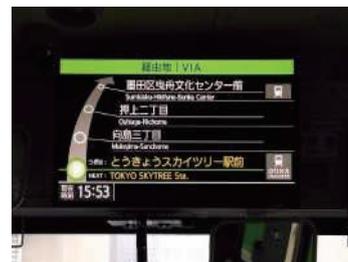


増備した日暮里・舎人ライナーの車両(車内)

■ 旅行者にも利用しやすい環境の整備

- ◆ 都営バス車内の次停留所名表示装置を多言語に対応した液晶式に更新し、路線バス全車両への設置を完了しました。

		28年度	29年度	30年度	33年度までの到達目標
バス車両の次停留所名表示装置の更新					
計画	全車両設置完了	—	—	—	—
実績	全車両設置完了	—	—	—	—

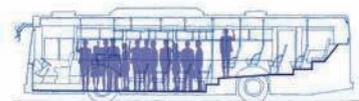


都営バス車内の次停留所名表示装置

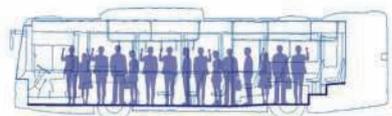
■ 新たなバスモデルの展開

- ◆ 誰もが利用しやすい新たなバスモデルの構築に向けて、対象路線や施策の検討を行いました。また、LEDカラー行先表示器や観光情報等を表示する液晶モニターを導入を進めたほか、車内の通路段差を解消したフルフラットバスを導入することとし、仕様の検討を行いました。

		28年度	29年度	30年度	33年度までの到達目標
新たなバスモデルの展開					
計画	路線選定・仕様検討	—	試行実施	検証・拡大	5系統で展開
実績	路線・仕様の検討	—	—	—	—



現在：ノンステップバス



イメージ：フルフラットバス

4. 東京の発展に貢献

首都東京が抱える様々な課題に果敢に挑戦し、東京の発展に貢献する都営交通を実現するため、取組を進めました。

■ まちづくりとの連携

- ◆ 大江戸線勝どき駅の大規模改良工事について、土木工事のほか、建築・設備工事を順次実施しました。

	28年度	29年度	30年度	33年度までの到達目標
勝どき駅の大規模改良				
計画	建築・設備工事	————→	供用開始	既設ホームの改良完了 (平成32年度まで)
実績	建築・設備工事			



拡張するコンコースの様子(工事中)

- ◆ 2020年に開業60周年を迎える浅草線のリニューアル・プロジェクトの第一弾として、“日本らしさとスピード感が伝わる車両”をコンセプトとした新型車両「5500形」のデザインを決定するとともに、車両の発注を行いました。

	28年度	29年度	30年度	33年度までの到達目標
浅草線のリニューアル・プロジェクト				
計画	(プロジェクト) 始動	————→	基本構想発表	—
実績	(プロジェクト始動) 新型車両デザイン 決定・発注			



新型車両「5500形」イメージ

■ 持続可能な社会の実現への貢献

- ◆ バス停留所について、LED照明の設置を拡大し、CO2排出量の削減に努めました。

	28年度	29年度	30年度	33年度までの到達目標
バス停留所へのLED照明の設置拡大				
計画	100棟	100棟	100棟	520棟
実績	100棟			



照明をLED化したバス停留所上屋

■ 沿線地域の発展に貢献

- ◆ 福祉施設を整備する事業者にも賀職員寮跡地を貸し付け、施設が竣工しました。

	28年度	29年度	30年度	33年度までの到達目標
福祉インフラ整備事業への協力				
計画	(用賀職員寮跡地) 工事	竣工	—	—
実績	(用賀職員寮跡地) 工事、竣工			



用賀職員寮跡地に竣工した福祉施設

5. 経営基盤の強化

事業環境の変化にも迅速かつ的確に対応するとともに、中長期的に安定した事業運営を行っていくため、経営基盤の強化に向けて取組を進めました。

■ 関連事業の推進

- ◆ 局の所有する不動産の有効活用と安定した収入確保のため、都営バス目黒分駐所跡地や旧工務事務所跡地等の利活用に向けた準備を着実に進めました。旧工務事務所跡地については、工事が完了し、利活用を開始しました。

	28年度	29年度	30年度	33年度までの到達目標
都営バス目黒分駐所跡地の利活用				
計画	工事	竣工・利活用開始	—	—
実績	工事			
旧工務事務所跡地(南青山)の利活用				
計画	工事	竣工・利活用開始	—	—
実績	竣工・利活用開始			
都営バス大塚支所跡地の利活用				
計画	公募準備	公募実施	利活用開始	—
実績	公募準備			
大門庁舎(浜松町)の利活用				
計画	都市計画決定	再開発組合設立認可	権利変換計画認可	
実績	都市計画決定			



利活用を開始した旧工務事務所跡地

- ◆ 広告付バス停留所上屋について、設置を拡大しました。

	28年度	29年度	30年度	33年度までの到達目標
広告付バス停留所上屋の拡大				
計画	20棟	20棟	20棟	100棟 (東京2020大会まで)
実績	9棟			



広告付バス停留所上屋

■ 安定的な人材の確保と育成

- ◆ 事業を支える有為な人材の安定的な確保のため、採用に関するホームページをより魅力的なものにリニューアルしたほか、高等学校や専門学校への働きかけを強化しました。
- ◆ バス乗務員の確保を図るため、大型二種免許取得を支援する養成型選考を実施しました。

- このレポートについて、皆様のご意見やご感想をお寄せください。お寄せいただいたご意見を参考とさせていただき、より分かりやすい経営情報の発信に努めます。
- ご意見などは、交通局ホームページの「ご意見・ご要望」のページをご利用ください。また、都営交通お客様センターでは、都営交通に関するお問い合わせ全般を承っております。

東京都交通局ホームページ > お問い合わせ > ご意見・ご要望
<https://www.kotsu.metro.tokyo.jp/eng/opinion/>

都営交通お客様センター

午前9時～午後8時〔年中無休〕
電話番号 03-3816-5700

※自動音声ガイダンスに従って、下記の3つのうちからご希望
のお問い合わせ内容にあわせて番号をお選びください。

- 1番: 運賃・時刻・ルートなどのお問い合わせ
- 2番: お忘れ物などのお問い合わせ
- 3番: その他、ご意見・ご要望など

東京都交通局2017経営レポート

平成30年1月発行

編集・発行

東京都交通局

総務部 財務課

所在地 163-8001 東京都新宿区西新宿二丁目8番1号
電話番号 03-5321-1111 (代表)

印刷

会社名 株式会社 内浦

所在地 東京都江東区潮見 2-2-3
電話番号 03-5646-9171

すべての「今日」のために。



都宮交通